

日本人の意識・40年の軌跡(1)

～第9回「日本人の意識」調査から～

世論調査部 高橋幸市／荒牧 央

NHKは1973年から5年ごとに「日本人の意識」調査を行い、社会や経済、政治、生活などに関する人々の意識を長期的に追跡している。その最新の調査結果から、日本人の40年間の意識の変化について2回に分けて報告する。1回目は家庭・男女関係を取り上げる。

結婚観については「必ずしも結婚する必要はない」と考える人、「結婚しても、必ずしも子どもをもたなくてよい」と考える人がこの5年間でいずれも増加した。結婚後の夫婦の姓は、「どちらが名字を改めてもよい」という人が増えているが、「当然、夫のほうの名字を名のるべきだ」という人も多く、意見は分かれている。理想の家庭として「家庭内協力」型をあげる人は、この5年間では変わらないものの、半数近くとなっている。結婚した女性が職業をもち続けることについては、「子どもが生まれても、できるだけ職業をもち続けたほうがよい」という人が増え続け、今回初めて半数を超えた。夫が家事の手伝いをするのは、「するのが当然」と考える人が当初から多かったが、現在では9割と大多数になっている。子どもの教育では、女の子に「大学まで」教育を受けさせたいという人が増え続け、57%になった。ただし男の子については70%の人が「大学まで」と考えていることに比べると、依然開きがある。婚前交渉に対する考えでは、「深く愛し合っていればよい」とする人が大きく増加したが、ここ15年間はあまり変化がない。

家庭や男女関係についての考えは、40年間で大きく変化したが、2000年代に入って変化が小さくなってきている。

はじめに

人々の意識は時代とともにどう変化するのだろうか。時代が変わっても変わらない意識はあるのだろうか。このような問いに答えるため、NHKでは1973年から5年ごとに「日本人の意識」調査を行い、日本人のものの見方や考え方を広い範囲にわたって、長期的に追跡している。

2013年10月には第9回の調査を実施し、調査開始から40年間におよぶ意識の変化をとらえることが可能になった。その結果を2回に分けて報告する。1回目の今月号は男女関係、家庭像、夫婦・親子関係について、2回目の来月号は政治、ナショナリズム、宗教、人間関係、基本的価値観などについて報告する。

I「日本人の意識」調査の基本設計

1. 目的と内容

調査の目的は、5年ごとに同じ質問、同じ方法で世論調査を実施することにより、社会や生活についての日本人の基本的な価値観や意見の変化を長期的にとらえることにある。調査では次の5つの基準に沿って具体的な項目を選定している。

- ① 主要な意識の領域をカバーすること
- ② 意識の特性を構造的にとらえ得ること
- ③ 長期的な変動が見込まれる意識であること
- ④ 社会的影響力の大きい意識であること
- ⑤ 統計調査法により測定可能であること

最終的には以下の7つの質問領域と質問項目群が設定されている。また個々の質問は、具体的な状況設定をしたものにする事や、長期的な時系列調査に耐えるものにする事も考慮されている。

(1) 基本的価値

- 生活目標
- 生活充実手段
- 権威-平等
- 能率-情緒
- 理想の人間像

(2) 経済・社会・文化

- 消費・貯蓄
- 人間関係(血縁, 地縁, 職場, 友人*)
- 理想の仕事
- 仕事と余暇
- 余暇(現状, 将来)
- 信仰・宗教

(3) 家庭・男女関係

- 理想の家庭
- 夫婦関係, 父子関係
- 老後のあり方
- 男女の教育
- 性意識
- 結婚観*

(4) コミュニケーション

- 欠かせないコミュニケーション行動*

(5) 政治

- 知識
- 有効性感覚(選挙, デモなど, 世論)
- 結社・闘争性(職場, 地域, 政治)
- 政治活動
- 政党支持
- 政治課題
- 天皇に関する感情

- ナショナリズム(日本や日本人についての愛着心, 優越感)

(6) 国際関係*

- 好きな外国とその理由
- 外国人との接触経験
- 外国との交流

(7) 属性ほか

- 生活満足度
- ライフステージ
- 学歴
- 職業
- フィールド状況(面接時間)

このうち, *のついた領域・項目は第3回以降に, 以下のように追加されたものである¹⁾。

人間関係(友人): 第7回から
(第8回から質問・選択肢を変更)

結婚観: 第5回から

欠かせないコミュニケーション行動:
第3回から(第7回から選択肢を追加)

国際関係: 第5回から
(外国との交流は第7回から)

全体の質問数は, 第1・2回が66問, 第3・4回が60問, 第5・6回が68問, 第7回以降が69問となっている。

実際に使用した質問文と選択肢, および各回の概要, 単純集計結果, サンプル構成は20~39ページに掲載した。

2. 方法の固定化

時系列調査では結果を精緻に比較できるよう, 調査の条件をできるだけ一定に保つ必要がある。そこで「日本人の意識」調査では第1回の調査にあたり, 以下の基本方針と実施のための留意点を策定し, 今日まで引き継いでいる。

(1) 基本方針

日本人の意識の変化を長期的に追跡するため、調査実施の諸条件を最大限に均一化した上で、5年に1回の調査を行う。

(2) 実施のための留意点

- ① サンプル：調査のつど新たに16歳以上の国民5,400人(12人×450地点、層化無作為2段)を抽出する
- ② 調査時期：5～7月に実施する(ただし、3・5・6・9回調査は7月に国政選挙が行われたため、9月ないし10月へ変更)
- ③ 調査員指示：説明会などを通じた調査員への指示を同じものにする
- ④ 調査材料：調査票、回答項目リスト、調査協力依頼状、調査実施細目(マニュアル)の内容も重大な支障がない限り変更しない
- ⑤ 調査方法：個人面接法で行う
- ⑥ その他：〈a〉以上の条件の徹底をはかるため、NHKの全国組織によって調査を実施する、〈b〉受付、点検、集計時における回答エラー補正の方法を変更しない、〈c〉調査不能理由などの調査の実施状況を記録し、各回の結果を比較する際の参考とする

このように、調査の諸条件をできる限り均一化することによって、得られたデータの変化が、実施面での条件が変わったことによるものではなく、調査対象の回答が変わったものと判断して分析できることになる。

3. 意識変化の要因

本報告でいう「日本人の意識」とは、「集団としての日本

人の意見分布」である。さらに厳密に言えば、科学的な世論調査の結果から推定した「16歳以上の日本国民における様々な意見・考え方・態度の分布状況」ということになる。分布状況は個人個人の意見の集積であるが、個々人が意見を変えなくても全体の分布が変わることもあれば、反対に、個々人の意見が変わっても全体の分布が変わらないことがある。

- ① 個々人は意見を変えなくても、国民全体での分布が変わる典型：若い世代ほど支持する人が多いなど、世代間で差があれば、個々人は意見を変えなくても、世代交代により国民全体での意見分布は変化する
- ② 個々人は意見を変えても、国民全体での分布が変わらない典型：個々人は年齢を重ねること(加齢)によって意見を変えても、各年齢の構成比が同じであれば、国民全体での意見分布は変わらない
- ③ 個々人が意見を変え、国民全体の意見も変わる典型：加齢やライフステージの変化だけでなく、時代の動きによっても個々人の意見が変わることがある。この場合、個々人の意見が同じ方向に変われば、国民全体の

図1 年齢別構成比の推移(国勢調査から)

	15～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1970年	11.5%	25.0	21.0	16.7	11.7	8.5	5.5
1975年	9.4	23.5	20.9	18.4	12.3	9.1	6.4
1980年	9.2	18.9	22.3	18.4	14.3	9.4	7.5
1985年	9.5	16.9	20.8	18.3	15.7	10.1	8.7
1990年	9.9	16.7	16.7	19.5	15.7	11.8	9.7
1995年	8.1	17.7	15.1	18.6	16.0	13.2	11.3
2000年	6.9	16.8	15.6	15.4	17.7	13.7	13.8
2005年	6.0	14.2	16.8	14.4	17.4	14.6	16.6
2010年	5.5	12.4	16.4	15.2	14.8	16.5	19.1

意見分布も変わる

加齢と世代交代は時の経過とともに必然的に生じる現象である。そのため、分析する際の基本は、加齢によるものなのか、それとも世代交代によるものなのかをまず析出し、次に時代状況の変化の影響があるのかないのかをみていくことになる。

さらに、この40年の間には日本人の年齢構成も大きく変化している。図1で国勢調査の結果をみると、15～19歳や20代は半減し、かわって50代以上の高年齢層の割合はおよそ半数に高まっている。その結果、年齢を重ねることによって変わるような意見で、かつ、高年齢層に支持される意見は、国民全体での割合は高くなり、反対に高年齢層で支持する人が少ない意見の割合は低くなる。

また、1970年以降の主なできごとを表1に示した。ここには掲載できなかったできごとを含めて、様々な事象が人々の意見形成に影響を及ぼしてきたと考えられる。

II 家庭・男女関係についての意識

前述のように「日本人の意識」調査は、広い範囲の意見や態度を対象としている。その中であって、家族や男女に関する意識は最も大きく変化した領域である。

1. 結婚観

「結婚しなくてよい」「子どもはもたなくてもよい」が再び増加

2010年の生涯未婚率（国勢調査の結果から推計した50歳になった時点で一度も結婚をしたことがない人の割合）が男性は20.1%、女性は10.6%で、どちらも過去最高となった。女性

表1 1970年以降の主なできごと

年	主なできごと	
1970年	大阪万博	
1971年	ドルショック	
1972年	浅間山荘事件 沖縄返還 日本列島改造論	
1973年	第1次オイルショック	第1回実施
1974年	狂乱物価 戦後初のマイナス成長	
1975年	国際婦人年	
1976年	ロッキード事件発覚 戦後生まれ過半数に	
1978年	成田空港開港	第2回実施
1979年	第2次オイルショック ジャパンアズナンバワン	
1980年	衆参同日選挙自民大勝 自動車生産台数世界第1位	
1982年	海外旅行ブーム	
1983年	戸塚ヨットスクール事件 「ロンヤス」会談、運命共同体	第3回実施
1985年	靖国神社参拝問題	
1986年	男女雇用機会均等法施行	
1987年	ブラックマンデー	
1988年	リクルート事件	第4回実施
1989年	昭和天皇崩御 消費税実施 ベルリンの壁崩壊	
1991年	湾岸戦争 ソ連崩壊	
1993年	皇太子ご成婚 55年体制の崩壊、非自民政権	第5回実施
1994年	自社さ連立政権	
1995年	阪神・淡路大震災 オウム真理教（地下鉄サリン）事件	
1997年	神戸連続児童殺傷事件	
1998年	長野冬季オリンピック 金融破綻、銀行・企業倒産	第6回実施
1999年	i-mode サービス開始 大手銀行に公的資金投入 国旗国歌法成立	
2000年	介護保険制度開始	
2001年	米国同時多発テロ事件 貸し剥がし問題	
2002年	北朝鮮拉致被害者5人帰国	
2003年	イラク戦争 個人情報保護法成立	第7回実施
2004年	平成の大合併 振り込め詐欺問題	
2005年	ベイオフ解禁 人口初の自然減、出生率1.26	
2006年	教育基本法改正 年金記録漏れ問題	
2007年	米サブプライムローン問題 郵政民営化 食品偽装表示問題	
2008年	世界同時株安	第8回実施
2009年	リーマンショック 裁判員制度開始 民主党圧勝で政権交代	
2010年	尖閣諸島問題	
2011年	東日本大震災 福島第一原発事故	
2012年	自民党圧勝、政権交代	
2013年	アベノミクス 国の借金1,000兆円突破	第9回実施

では10人に1人、男性では5人に1人は一生結婚しないことになる。

「日本人の意識」調査では、結婚観に関する質問は1993年から設け、次のどちらかを選んでもらっている。

甲：人は結婚するのが当たり前だ

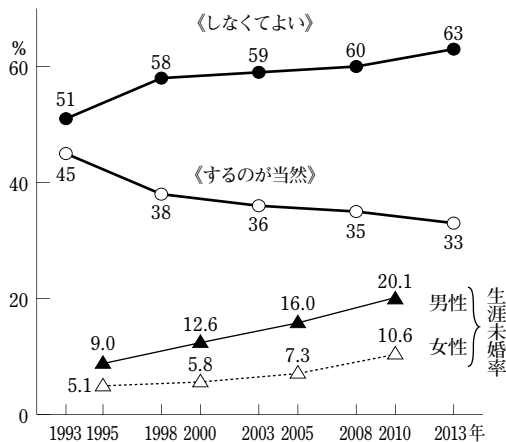
《するのが当然》

乙：必ずしも結婚する必要はない

《しなくてよい》

その結果をみると、2013年には《するのが当然》という人は33%であるのに対し、《しなくてよい》という人は約2倍の63%である(図2)。

図2 結婚観(結婚すること)〈全体〉



《しなくてよい》という人は93年にはほぼ半数の51%で、次の5年間で58%へと増えた。そして、その後の10年間は大きな変化はなかったが、今回再び増加した。

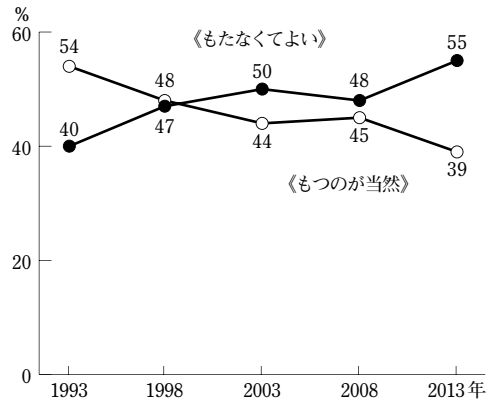
子どもをもつことについても、93年から次のどちらかを選んでもらっている。

甲：結婚しても、必ずしも子どもをもたなくてよい《もたなくてよい》

乙：結婚したら、子どもをもつのが当たり前だ《もつのが当然》

13年には《もつのが当然》という人が39%に対し、《もたなくてよい》という人が55%で、今回初めて半数を超えた(図3)。

図3 結婚観(子どもをもつこと)〈全体〉



《もたなくてよい》と考える人の増加は、「必ずしも結婚する必要はない」とほぼ同じ変化の過程をたどっている。93年には《もたなくてよい》という人が40%で、次の5年間で47%へと増え、その後の10年間は変化がなく、そして、今回再び増えた。このように、変化の時期と方向は「必ずしも結婚する必要はない」とまったく同じである。しかし、「必ずしも結婚する必要はない」はすでに93年に多数派であったが、「子どもをもたなくてよい」は、03年に多数になった点は異なる。

「合計特殊出生率(一人の女性が一生に産む子どもの数の平均)」は、戦後ほぼ一貫して減少していた。「日本人の意識」調査を開始した73年は、人口が増えも減りもしない境目にほぼ近い2.14だった。80年代前半に一時増加するが、89年には66年の丙午の数値1.58を下回る1.57となり、社会的関心が高まった。さらに、この「子どもをもつこと」の質問を開始した93年には1.46にまで低下していた。2005年には1.26と最低になったが、12年には1.41にまで回復した。

意識の上では必ずしも結婚する必要はないという人も、必ずしも子どもをもたなくてもよいという人も増加している。しかし、実態としては結婚しない人が増え続け、反対に、出生率は近年ではやや増加している。

世代で決まっている考え

これまでの調査結果から、結婚することと子どもをもつことについての考えは、個々人においては一生変わらないことが分かっている。そして、世代によって支持する人の割合が異なることから、時代が推移すると、世代交代により国民全体での意見の分布が変わるのである。

このことを、図4によってみていく。図4は子どもを《もたなくてよい》について、5歳ごとに集計した結果を、生まれ年を基準にして示したものである。ただし、「日本人の意識」調査は16歳以上を対象としているため、各線の左端は「16～19歳」の4歳分であり、また、右端は「75歳以上」としてまとめたものである。

この質問を開始した93年の「75歳以上」は1918年以前に生まれた人である。一方、最も若い「16～19歳」は1974～77年に生まれた人で、「74-78」の位置に表示される。次の98年の線

は一区分左にずれ、「19-23」から「79-83」までとなり、その次の03年の線はさらに左にずれることになる。

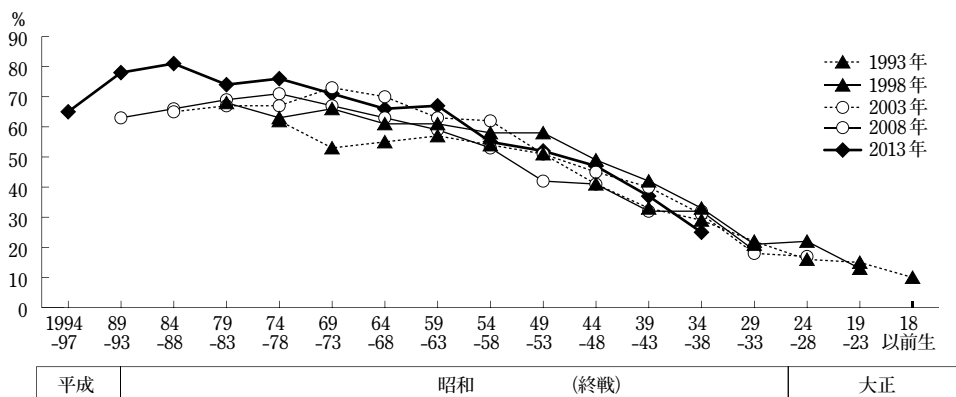
こうして描かれたグラフをみると、5つの線は上下に多少ずれているものの、ほとんど重なっている。ということは、調査の年が異なっても、同じ時期に生まれた人では、子どもを《もたなくてよい》と考えている人はいつも同じくらいの割合で変わらないということである。すなわち、ある時期（多くの方は青年期）に子どもを《もたなくてよい》という考えをもつと、その考えが一生変わらないことを示している。

このように、個人個人では考えが変わらないのに、先にみたように国民全体では子どもを《もたなくてよい》という人が増えたのは、世代交代によるものなのである。

つまり、図4で右のほうの高年世代では《もたなくてよい》という人が少なく、左のほうの若い世代では多い。そして、調査の回数を重ねると、高年世代は去り、若い世代が増えるため、全体としては《もたなくてよい》という人が増えたのである。

次に各線の上下のずれに注目する。93年と98年の線を比較すると、ほとんどの生年区分

図4 結婚観(子どもをもつこと)《もたなくてよい》〈生年別〉



で線が上にずれている。特に1969～73年に生まれた人では大きくずれている。つまり、93年から98年にかけて子どもを《もたなくてよい》と考える人が増えた。1939～43年と44～48年に生まれた人でも増えている。これらの世代では、当時の社会状況などの影響＝時代の影響で、考えを変えた人がいたと考えられる。

こうして、93年から98年にかけては、世代交代と時代の影響によって、国民全体では《もたなくてよい》という人が40%から47%へと増えたのである。

次に98年から03年についてみる。03年は新しく加わった世代（線の左端）では、それより上の世代（右隣）より《もたなくてよい》という人が少ない。そのため、世代交代による増加は98年より小さくなった。また、03年と98年の線はほとんど重なっていて、大きくずれているのは1964～68年に生まれた人だけである。時代の影響による増加も小さかった。その結果、国民全体での増加は3%と、93年から98年の7%より小さかったのである。

次の03年から08年にかけては、新しく加わった世代では、それより上の世代より《もたなくてよい》という人が多くないという傾向が続

いていた。そのため、世代交代による増加は大きくなかった。さらに、1939～43年と49～58年生まれの人では《もたなくてよい》という人が減ったため、国民全体では48%となり、03年の50%と変わらなかったのである。

しかし、13年になると、1949～53年と84～93年に生まれた世代で、《もたなくてよい》という人が増えたことから、国民全体でも48%から55%へと再び増えた。

「必ずしも結婚する必要はない《しなくてよい》」についても、子どもを《もたなくてよい》とほぼ同じような構造となっているため、国民全体の変化も同じような経過をたどって増えている（図5）。

結婚したくない人は少数

ただし、別の調査²⁾で自分自身のことについて尋ねた結果では、「結婚したくない」という人はわずかしかない。

2013年の2月から3月に実施した調査で、結婚したことがない人に「将来は結婚したいかどうか」を尋ねた。その結果では、「結婚したくない」という人は1桁の9%しかいない（表2）。

最も多いのは「結婚してもいいと思える人が

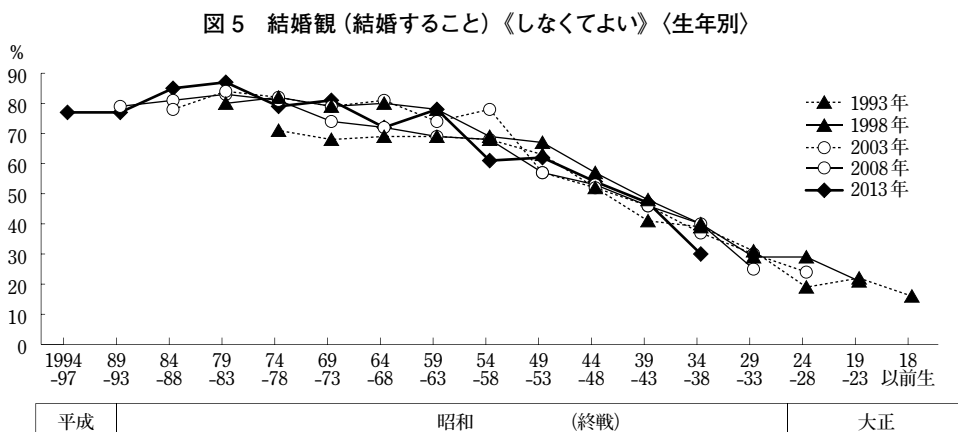


表2 将来は結婚したいか〈結婚したことがない人〉

「現代の生活意識」調査から	全体	20, 30代
	547人	297人
1. 結婚したくない	9%	5%
2. 結婚してもいいと思える人が見つかれ ば結婚するが、そうした人が見つかる までは結婚しない	54	51
3. ある程度の年齢までには、 必ず結婚したい	19	22
4. なるべく早く相手を見つけて、 すぐにでも結婚したい	5	5
5. 結婚してもいい相手はいるが、 今のところは現在の生活を続けたい	6	9
6. 結婚する予定がある	4	5

※ 太字は「結婚したことがない人」全体に比べて多いことを、下線は少ないことを示す（信頼度 95%）

見つければ結婚するが、そうした人が見つかるまでは結婚しない」という人で、54%である。20, 30代に限ってみても「結婚したくない」という人が少なく、「結婚してもいい相手はいるが、今のところは現在の生活を続けたい」が多いという程度で、傾向は変わらない。

また、同じ調査の中で結婚すべきかどうかについてもきいている。結婚したことがない人では「必ずしも結婚する必要はない」という人が73%と多い。20, 30代も同じ73%である。しかし、この若い人たちでも表2のように「結婚したくない」という人は5%とかなり少ない。一般論としては、必ずしも結婚する必要はないが、自分自身は結婚したいという人が多いのである。

結婚は自分の意思だけでなく、周囲の人の後押しによっても実現する。しかし、以上のように、必ずしも結婚する必要はないと考えている人が増えていて、周囲の人の後押しが強くなるとは考えにくい。調査に表れた結果からみ限り、未婚率が低下する要素は見当たらない。

2. 夫婦の姓

揺れる意見

現行の民法では、夫または妻のどちらかの姓を名のらなければならない。どちらの姓に

するかは自由だが、現実にはほとんど女性が改姓している。そのため、仕事をもっている場合には、姓が変わると不便であるなど、社会生活上の困難が伴ったり、自己の同一性の確保に悩んだりする人もいる。さらに、改姓することによって結婚、離婚、再婚などのプライバシーが明らかになるなどの弊害がある。

夫と妻の同一の権利として、特に姓を選択する権利をあげた女性差別撤廃条約を85年に日本は批准した。そして、90年代には夫婦別姓をめぐる議論が盛んになる。96年には法務省が民法の改正案を作成したが、与党内にも反対意見があり国会には提出されなかった。その後も、与党、野党ともに改正案を作成し、また2011年には国連女性差別撤廃委員会が日本政府に対し、選択的夫婦別姓制度の導入などの「民法改正法案の採択」の取り組みを1年以内に国連に報告するよう勧告したが、現在でも結婚後の姓に関する民法の改正はなされていない。

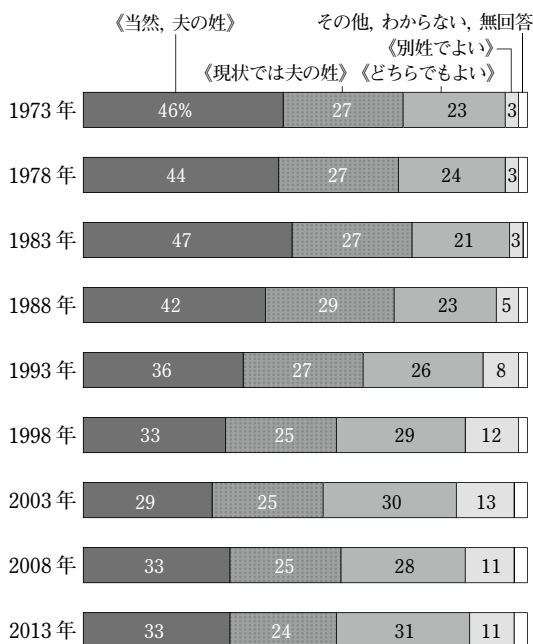
改正反対派の主な意見は「家族のきずなを弱める」や「親と姓が異なることで、いじめにあう」などである。

調査では、結婚後の姓について次の中から1つを選んでもらっている。

1. 当然、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のるべきだ《当然、夫の姓》
2. 現状では、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のったほうがよい《現状では夫の姓》
3. 夫婦は同じ名字を名のるべきだが、どちらが名字を改めてもよい《どちらでもよい》
4. わざわざ一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のままでもよい《別姓でよい》

国民の意見は、夫の姓を名のるべきだという

図6 男女のあり方(名字)〈全体〉



人が現在でも過半数である(図6)。

最新の結果では、《当然、夫の姓》という人が33%、《どちらでもよい》という人が31%と、両者が並んでいる。

ただし、《現状では夫の姓》という人が24%おり、《当然、夫の姓》と合わせれば、夫の姓にすべきだという人が過半数になる。

なお、《別姓でよい》という人は11%と少ない。

長期的な変化をみると、73年には《当然、夫の姓》が46%、《現状では夫の姓》が27%で、夫の姓にすべきだという人が合わせて70%以上と多い。88年以降は《当然、夫の姓》は減り続け、03年には29%になった。同じ時期に《別姓でよい》は増え続け、03年には13%になった。また、《どちらでもよい》も93年と98年に増えた。

08年には《当然、夫の姓》が33%に増え、今回も変わらない。反対に、《別姓でよい》は08年に11%へ減ったが、こちらも今回は変わら

ない。

そして、最近の5年間では《どちらでもよい》が増え31%になった。

このように、2000年代前半までは夫の姓にすべきだという意見が減り、どちらの姓を名のってもよいや別姓でよいという意見が増えていた。しかし、最近の10年間は別姓派は変わらないが、《当然、夫の姓》が増えたり、《どちらでもよい》が増えたりして、国民の意見はやや揺れている。

そこで、73年から03年までとその後の変化を、《当然、夫の姓》と《どちらでもよい》について、性年層別にみよ(図7、図8、図9、図10)。

《当然、夫の姓》という人は、73年から03年の間に、男女とも多くの年層で減少した。その後は、5年ごとにみた場合、男性は変化した層はなく、女性は03年から08年には10代後半、20代前半、30代後半で増え、08年から13年には50代後半と60代後半で減った。

一方、《どちらでもよい》という人は、03年までは、女性は20～60代前半で、男性は20代後半～40代前半で増え、ともに減った層はない。その後、男性は03年から08年には50代後半で、08年から13年には30代前半で増えた。女性は03年から08年には30代後半で減り、08年から13年には10代後半と75歳以上で増えた。

このように、03年以降は男女とも意見を変える年齢層も、変化の方向も多様化している。今後もそれぞれの意見の増減が続くと思われる。

3. 理想の家庭像

夫婦で協力が定着

人々が理想とする家庭像は1980年代と90年

図7 男女のあり方(名字)《当然, 夫の姓》〈男性年層別〉

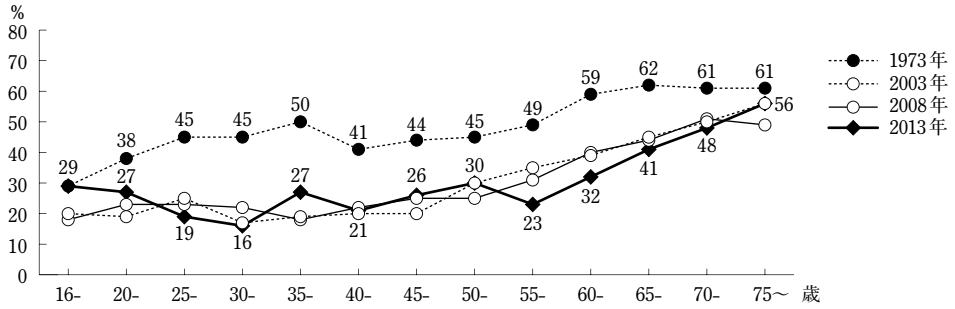


図8 男女のあり方(名字)《当然, 夫の姓》〈女性年層別〉

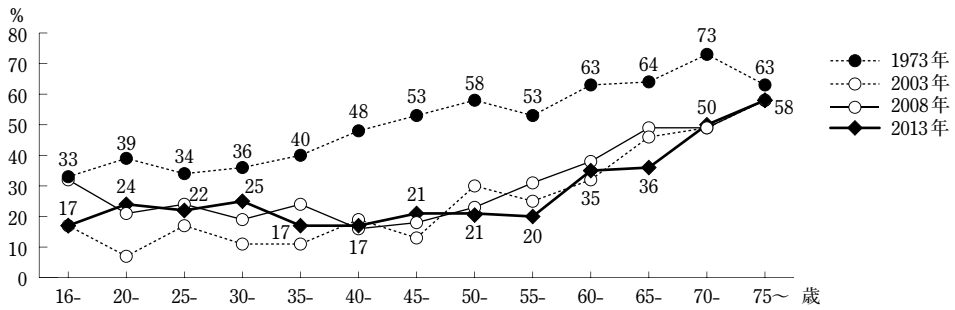


図9 男女のあり方(名字)《どちらでもよい》〈男性年層別〉

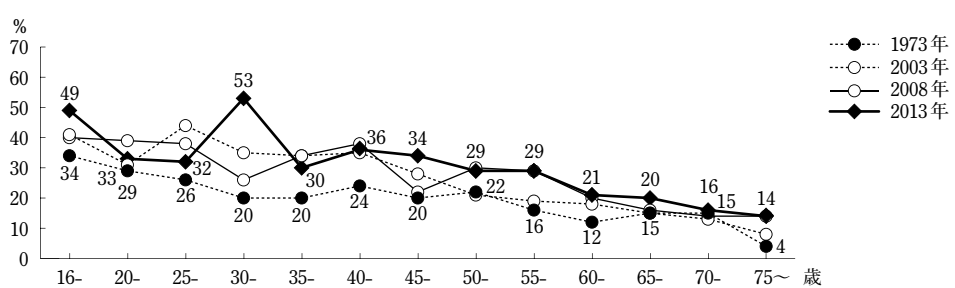
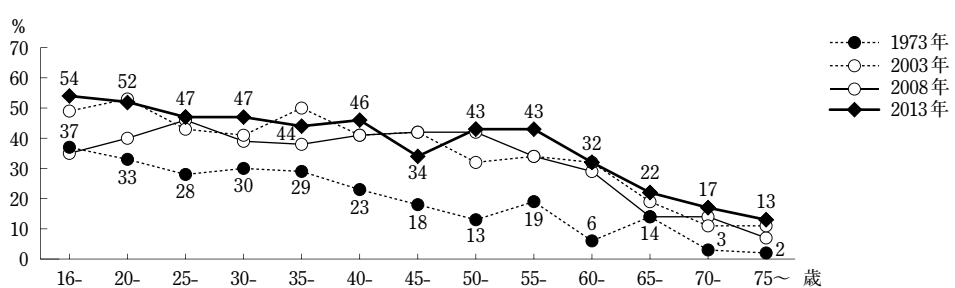


図10 男女のあり方(名字)《どちらでもよい》〈女性年層別〉



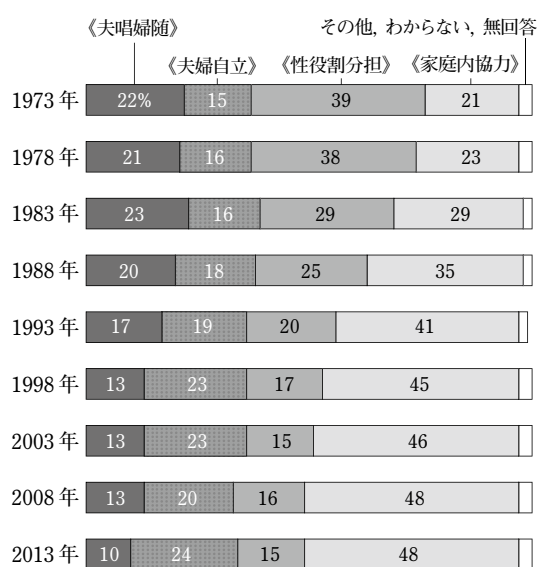
代に変化し、その後は、あまり大きな変化はない。

調査では、次の4つの中から理想と思うものを1つ選んでもらっている。

1. 父親は一家の主人としての威厳をもち、母親は父親をもちたてて、心から尽くしている《夫唱婦随》
2. 父親も母親も、自分の仕事や趣味をもって、それぞれ熱心に打ち込んでいる《夫婦自立》
3. 父親は仕事に力を注ぎ、母親は任された家庭をしっかりと守っている《性役割分担》
4. 父親はなにかと家庭のことも気をつかい、母親も暖かい家庭づくりに専念している《家庭内協力》

40年前には《性役割分担》を理想とする人が39%で最も多かった。しかし、80年代から2000年代前半まで減り続け、現在では15%しかない(図11)。

図11 理想の家庭〈全体〉



《夫唱婦随》を理想とする人も減った。40年前には22%だったが、その後80年代後半から90年代末にかけて減り、最近の5年間でも減って今では10%と最も少ない。

一方、夫婦が協力する家庭、および、夫婦それぞれが仕事や趣味をもっている家庭を理想とする人が増えた。

《家庭内協力》が理想だという人は、80年代から90年代末まで増え続け、08年にも増えて48%になり、最近の5年間は変わらず、現在では最も多い。

年層別にみても03年の75歳以上の高年層以外は、98年以降は男女すべての年層で最も多い。

その一方で、《夫婦自立》という家庭を理想とする人は、前は減ったものの今回再び増え、4人に1人の24%に上っている。

このように、理想の家庭に関する考えは主に80、90年代に大きく変化したが、最近では変化が少なく、現在では夫婦が協力する家庭が理想だという人が最も多い。

4. 女性の家庭と職業

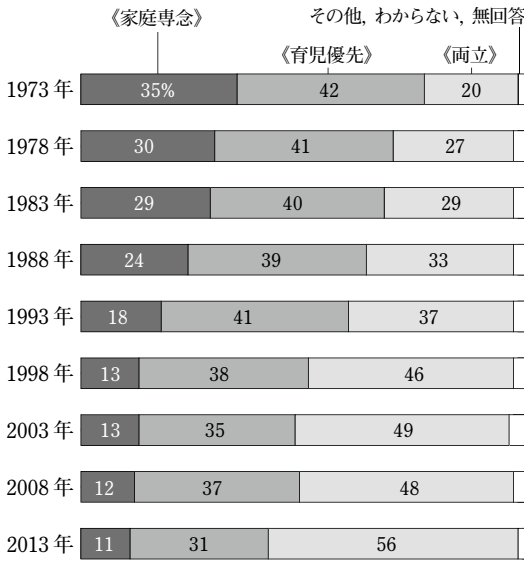
「職業をもち続けたほうがよい」が過半数に

結婚した女性が職業をもち続けるべきかどうかについて、次の中から1つを選んでもらっている。

1. 結婚したら、家庭を守ることに専念したほうがよい《家庭専念》
2. 結婚しても子どもができるまでは、職業をもっていたほうがよい《育児優先》
3. 結婚して子どもが生まれても、できるだけ職業をもち続けたほうがよい《両立》

40年前には《両立》がよいという人は20%と少なかったが、この考えを支持する人は増え続

図 12 男女のあり方(家庭と職業)〈全体〉



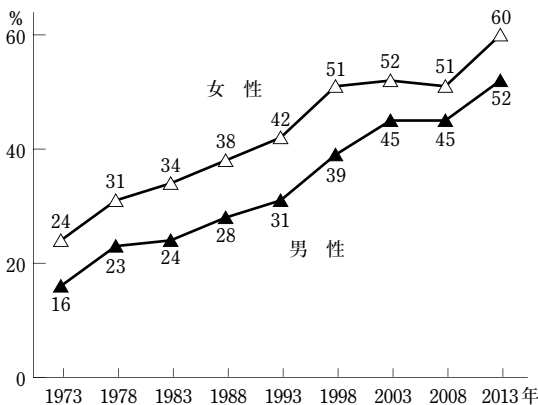
け、現在では56%と過半数に上っている(図12)。

反対に、《家庭専念》がよいという人は35%から11%へと大きく減少した。また、《育児優先》がよいという人も42%から31%へと減少した。

《両立》がよいという人は、男女ともすべての年層で大きく増加した。ただし、男女で比較すると、いつの時代でも、男性のほうが10%前後少ない(図13)。

ところで、これまでみてきた選択肢の中には

図 13 男女のあり方(家庭と職業)《両立》〈性別〉



「一旦仕事を辞め、その後復帰する」という考えがない。そこで、「日本人の意識」調査とは別の調査³⁾で、次の選択肢を示して、望ましいと思うものを1つ選んでもらった(表3)。

表 3 女性のライフコース(全体、性別)

	全体	男性	女性
	2,547人	1,200人	1,347人
1. 結婚しないで働き続ける	1%	1	2
2. 結婚し、子どもを持たずに働き続ける	1	1	1
3. 結婚し、子どもが生まれても働き続ける	32	34	30
4. 結婚を機に退職し、子どもが大きくなってから再び働く	13	13	13
5. 出産を機に退職し、子どもが大きくなってから再び働く	39	37	41
6. 結婚を機に退職し、その後は家庭に専念する	6	5	7
7. 出産を機に退職し、その後は家庭に専念する	6	6	5

※ 太字は男女で比較して多いことを、下線は少ないことを示す(信頼度 95%)

最も多かったのは「出産を機に退職し、子どもが大きくなってから再び働く」の39%であった。次いで「結婚し、子どもが生まれても働き続ける」の32%が多い。

他の意見はそれほど多くなく、「結婚を機に退職し、子どもが大きくなってから再び働く」だけが10%を超えている程度である。

なお、男女で差はあまりなく、「子どもが生まれても働き続ける」が男性でやや多く、「出産を機に退職し、子どもが大きくなってから再び働く」が女性でやや多いという違いしかない。

現実には結婚や出産を機に退職し、子どもが大きくなってから再び働く人が一定程度いることから、女性の就業率を年齢別に折れ線グラフで描くと「M」字の形になる。そして、結婚しても働き続ける人が増えると「M字の底が上がった」と表現されるが、80年代からM字の底は徐々に上がっている。

意識の上でも家庭と仕事を両立したほうがよいという人が増え続けている。また、少子化が進んで労働力が不足してきたため、女性の就労にますます期待がかかっている⁴⁾。そうした中で、女性の家庭と仕事については、これまでも指摘されてきたことだが、単に労働力としてだけでなく、自己実現や社会参加の視点も必要である。

5. 夫の家事

するのは当然という人が9割に

次に、夫が台所の手伝いや子どものおもりをするについてみていく。

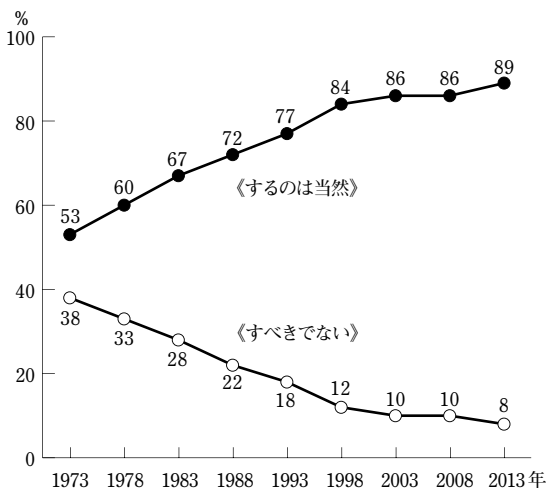
調査では、次の2つの意見を示して、どちらに賛成するかを尋ねている。

甲：台所の手伝いや子どものおもりは、一家の主人である男子のすることではない

《すべきでない》

乙：夫婦は互いにたすけ合うべきものだから、夫が台所の手伝いや子どものおもりをするのは当然だ《するのは当然》

図14 夫の家事手伝い〈全体〉

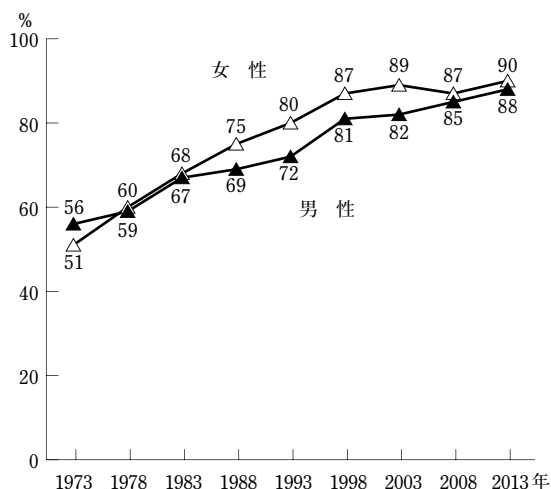


その結果は40年間で大きく変化し、《するのは当然》という人が大多数になった(図14)。

すでに73年の時点で《するのは当然》という人が過半数の53%であったが、その後、調査のたびに増加し、今回は初めて変化がなかったものの今回さらに増えて89%になり、今では大多数の人が夫が台所の手伝いや子どものおもりをするのは当然と考えている。

《するのは当然》という人が増えてきた過程は、男女でやや異なる(図15)。

図15 夫の家事手伝い《するのは当然》〈性別〉



73年には女性の51%に対し、男性は56%で、《するのは当然》という人は男性に多かった。しかし、その後は女性の増加が大きく、88年以降は女性のほうが多くなった。しかし、08年に男性だけがが増えて、男女で差がなくなった。そして、今回は男女とも増えたため、男女間での差はないままである。

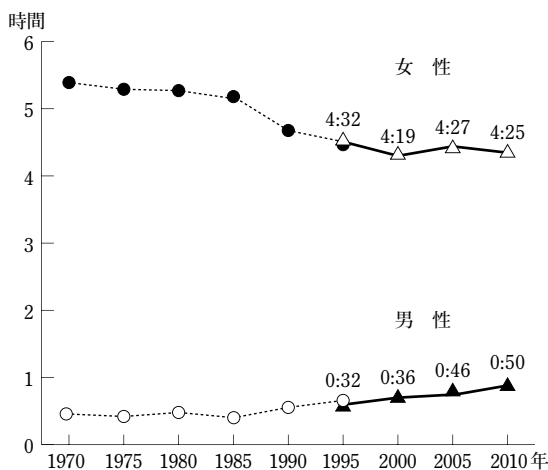
なお、最新の結果を性年層別にみると、ほとんどの年層で《するのは当然》という人が90%以上である。90%より少ないのは男女とも70歳以上の高年層(男性75%、女性78%)と、男性では40代前半と60代前半(ともに89%)、女性で

は10代後半(86%)と60代後半(89%)である。

実際には少ない夫の家事時間

では、実際には夫はどの程度家事をしているのであろうか。「NHK国民生活時間」調査で20歳以上の結果をみると、最新の2010年の結果では、女性の平日の家事時間は4時間25分なのに対し、男性では50分と、かなり差がある⁵⁾(図16)。

図16 家事時間(平日)〈20歳以上、性別〉



※ 1995年に調査方式を変更しているため、その前後は直接比較することができない
 ※ ここでの家事とは「炊事・掃除・洗濯」「買い物」「子どもの世話」「家庭雑事」を指す

95年以降の推移をみると、女性は外食産業の発達や冷凍食品、電子レンジの普及などにより家事時間が減っている。一方、男性は徐々に増えている。

また、土、日は2010年では女性は4時間30分を超えているのに対し、男性は1時間30分程度で、平日より差は縮まるものの、男女差は大きい。

意識の上では、夫が家事の手伝いをするのが当然だと男女とも大多数が考えていても、実際には夫の家事時間は少ないというのが現状である。

6. 子どもの教育

高学歴志向がさらに増加

仮に中学生の男の子と女の子がいたとして、それぞれにどこまでの教育を受けさせたいと考えているかを尋ね、人々の男女平等意識をとらえている。

最近の5年間では、男子、女子のどちらについても「大学まで」と考える人が増えた(図17、図18)。

男子については、73年にすでに64%と多くの人が「大学まで」教育を受けさせたいと考えていて、その後も、若干増えた。90年代に少し減り、前回まで変わらず推移していたが、今回増えて、現在では70%の人が男子には「大学まで」の教育を受けさせたいと考えている。

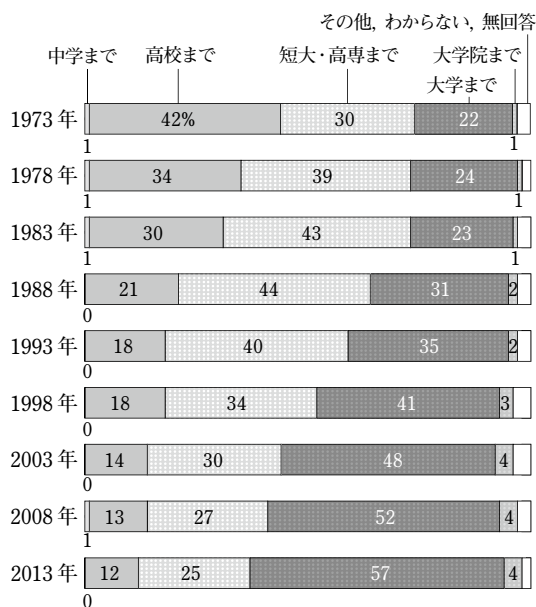
なお、「高校まで」という人は11%、「短大・高専まで」は10%、「大学院まで」は7%で、いずれも多くない。

一方、女子については73年には「高校まで」と考えている人が最も多い42%であり、「大学

図17 男女のあり方(男子の教育)(全体)



図 18 男女のあり方(女子の教育)〈全体〉



まで」という人は22%と少なかった。

78年には「短大・高専まで」という人が増えて39%になり、最も多くなった。また、「大学まで」という人も若干増えた。次の5年間でも「短大・高専まで」という人は増えた。

しかし、「短大・高専まで」という人は88年には変わらず、93年以降は減り続けた。一方、「大学まで」という人が88年以降増え続けた。

その結果、「大学まで」という人が08年に過半数となり、今回も増えて、「大学まで」の教育を受けさせたいという人が57%になった。

その一方で、「短大・高専まで」という人は25%まで減った。そして、「高校まで」は12%、「大学院まで」は4%である。

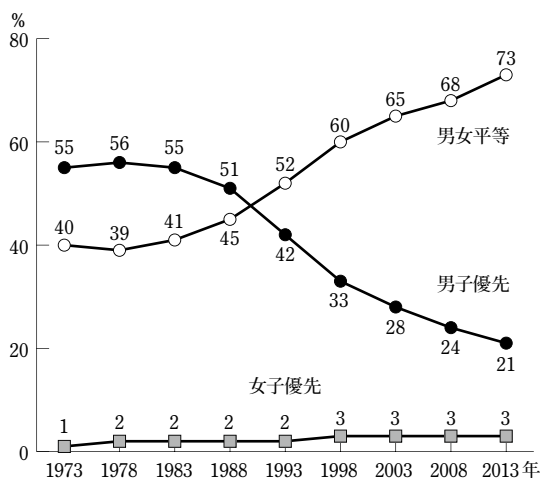
以上のように、女子に「大学まで」の教育を受けさせたいと考える人は、40年間ほぼ増え続けたが、それでも、男子の40年前に届かず、依然として差がある。

依然として残る「男子優先」

次に、同じ人が男子と女子のどちらか一方に、より高い教育を受けさせたいと考えているか、それとも同じ程度の教育を受けさせたいと考えているかによって、人々の平等意識について試みる。

図19は、同じ人が女子には「高校まで」、男子には「大学まで」と回答するなど、男子により高い教育程度を回答した場合は「男子優先」とし、反対の場合には「女子優先」、そして、男子と女子に同じ回答をした場合には「男女平等」として図示したものである。

図 19 男女のあり方(性別教育パターン)〈全体〉



73年には男子により高い教育を受けさせたいという「男子優先」の人が55%で最も多かった。反対に「女子優先」はわずか1%である。そして、「男女平等」は40%であった。

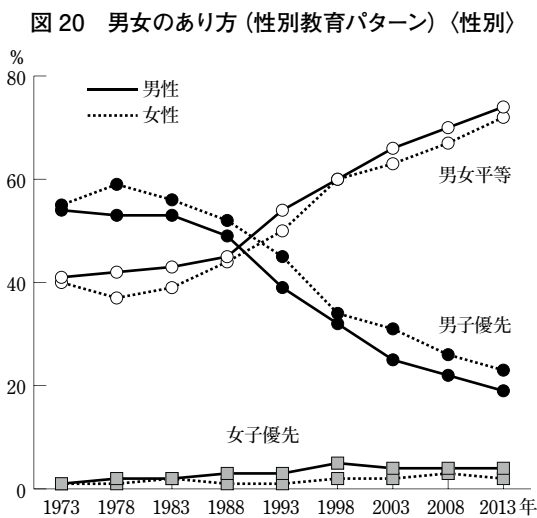
80年代前半までは変化がなく、88年になって「男子優先」が減り、「男女平等」が増え、93年にも「男女平等」は増えて過半数になった。その後も「男子優先」は減り続け、「男女平等」が増え続けて、現在では「男女平等」が73%に達している。

一方、「女子優先」という人も少し増えたが、現在でも3%しかいない。

人々の男女平等意識は確実に広がってきたが、それでも男子を優先する人が5人に1人はいる。

女性に多い「男子優先」

図20は、男性と女性で教育に関する男女平等意識がどう違うのかを示している。



まず、88年以降増え続けた「男女平等」についてみると、93年までは男女で差がないか、男性のほうが多い。その後は、男女で差がない。一方、減り続けた「男子優先」は、ほとんどの時期で女性のほうが多い。そして、「女子優先」はほとんどの時期で男性のほうが多い。

「女子優先」は男性で多く、「男子優先」は女性で多いという状態が、現在に至るまで長い間続いている。

7. 婚前交渉

最近は小さな変化

結婚前の男女の性交渉に関する考えは、開

放的な意見が大きく増えていたが、最近の15年間はほとんど変化していない。

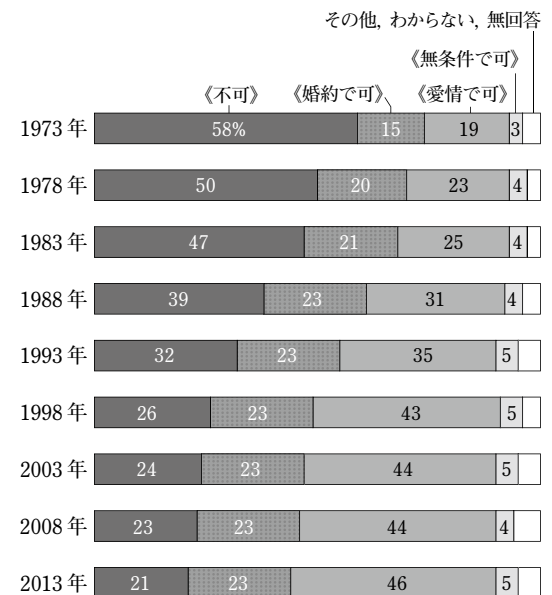
調査では、次の4つの中から1つを選んでもらっている。

1. 結婚式がすむまでは、性的まじわりをすべきでない《不可》
2. 結婚の約束をした間柄なら、性的まじわりがあってもよい《婚約で可》
3. 深く愛し合っている男女なら、性的まじわりがあってもよい《愛情で可》
4. 性的まじわりをもつのに、結婚とか愛とかは関係ない《無条件で可》

《不可》という人は、73年には過半数の58%であったが、その後減り続け、98年には26%になった(図21)。

その後は5年ごとにみた場合、変化はないが、13年には21%になり、40年間でみると37%も減少した。これは「日本人の意識」調査の中で、最大の変化である。

図21 婚前交渉について(全体)



その一方で、《愛情で可》という人が大きく増加した。《愛情で可》という人は73年には19%と少なかったが、《不可》が減り続けたのと同じ時期に増え、98年には43%になった。その後も《不可》と同様に、5年ごとにみた場合には変化はないが、13年には46%になった。

一方、《婚約で可》という人も、《無条件で可》という人も40年間は増えているが、ともにそれほど大きな変化ではない。

このように、結婚前の男女の性交渉に関しては、「結婚式がすむまでは、すべきでない」という厳格な人が大きく減り、「深く愛し合っているならよい」とか「結婚の約束をしたならよい」、

あるいは「結婚とか愛とかは関係ない」という開放的な考えの人が大きく増加した。

こうした変化は、厳格に考える世代が去り、開放的に考える世代が新たに加わったことと、時代が推移する中で、厳格な意見から開放的な意見に考えを変えた人がいたことによって生じた。

図22と図23は最も変化した《不可》について、図4と同じように生まれ年を基準にして示したものである。ただし、見やすくするため10年ごとの結果を表示した。

まず、男性の結果についてみていく。

グラフの線はほぼ重なっていて、《不可》とい

図22 婚前交渉について《不可》〈男性生年別〉

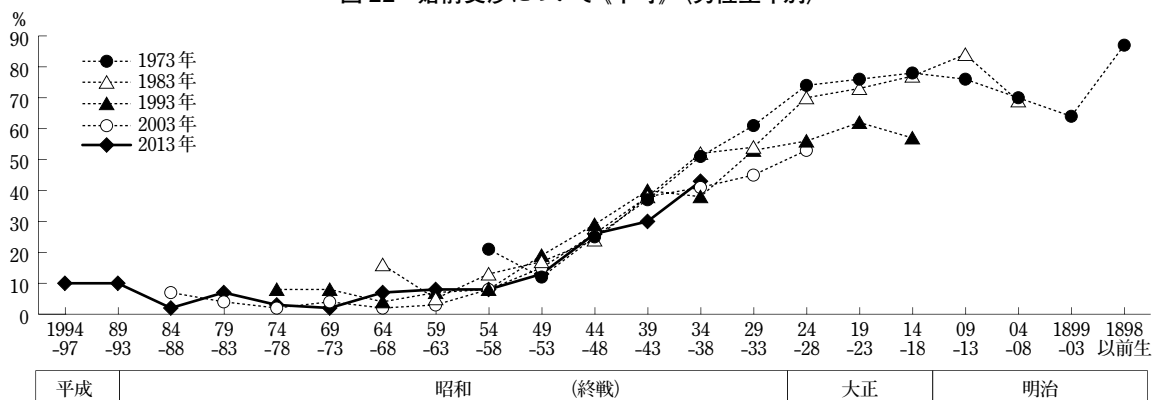
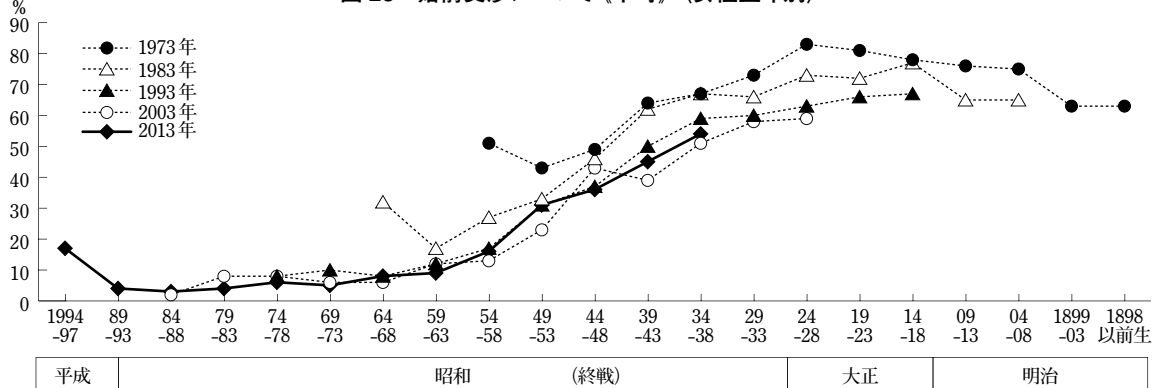


図23 婚前交渉について《不可》〈女性生年別〉



う考えは世代によって決まっていることが分かる。また、若い世代ほど《不可》という人が少ないということも分かる。さらに、明治や大正時代に生まれた人では、83年から93年にかけてなど、線が下にずれている所もあることから、時代の推移とともに《不可》から別の意見へ考えを変えた人がいることも分かる。

したがって、世代交代によって《不可》という人が減り、それに加えて、時期によっては考えを変えた人がいたことから、《不可》という人がさらに減り、全体では大きく減少してきたのである。

女性の結果も男性の結果とほぼ同じ傾向を示しているが、女性はグラフの線の下へのずれが大きい上に、広い範囲の世代でずれている。つまり、時代の影響が大きかった。そのため、男性より女性での変化が大きかった。

ただし、男女とも最近になるほど世代交代による減少が小さくなったこと、さらには、時代の推移とともに考えを変える人が少なくなったことから、03年以降は国民全体での変化は小さくなっている。

《不可》とは反対に40年間で大きく増えた《愛情で可》も、変化の要因は《不可》と同じである。ただし、《愛情で可》という人は若い世代で多く、明治や大正生まれの世代で少ないため、世代交代で増えることになる。さらに、時代の推移とともに考えを変えた人が少なく、主に世代交代だけで増えてきた点も異なる。

《不可》という人も《愛情で可》という人も、世代間の差は現在も存在する。したがって、世代交代による変化は今後も続くが、最近の15年間は世代間の差は小さくなっており、今後の変化はあまり大きくならないと考えられる。

以上みてきたように、家庭や男女関係に関する考えは40年間で大きく変化した。73年と13年を比較した場合、最も変化した上位10の選択肢の中で、家庭や男女に関するものは8個もある。そのほかにも多くの項目で男女平等の意識が拡大してきた。ただし、完全に浸透したわけではなく、また、男女間でも平等意識に差がある。

その上、5年ごとにみて最も変化した上位10の選択肢の中で、家庭や男女に関するものは98年以降は1個、0個、1個と少なく、2000年代に入って変化が小さくなってきた。

男女の意識差が縮まるかという点とともに、男女平等意識がさらに拡大するのか、それとも、変化が進まなくなってしまうのかが注目される。

(たかはし こういち/あらまき ひろし)

注：

- 1) 詳細は以下の報告を参照。
高橋幸市・荒牧央「時系列調査『日本人の意識の変遷』『NHK 放送文化研究所年報 58』(NHK 出版, 2014年)
- 2) 「現代の生活意識」調査
調査時期:2013年2月23(土)～3月3日(日)
調査方法:配付回収法
調査相手:全国の16歳以上の国民3,600人
調査有効数(率):2,547人(70.8%)
(報告は上記1)を参照)
- 3) 2)と同じ
- 4) 厚生労働省『平成22年版 働く女性の実情』
- 5) NHK放送文化研究所編『日本人の生活時間・2010』(NHK出版, 2011年)

第9回「日本人の意識」調査 単純集計結果

(1973年(第1回)～2008年(第8回)の結果を併記)

調査目的	5年ごとに、同じ質問、同じ方法で世論調査を重ねることによって、日本人の生活や社会についての意見の動きをとらえる。									
回数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	
調査時期	1973(昭和48)年 6月16日(土) ～18日(月)	1978(昭和53)年 6月24日(土) ・25日(日)	1983(昭和58)年 9月3日(土) ・4日(日)	1988(昭和63)年 6月25日(土) ・26日(日)	1993(平成5)年 10月2日(土) ・3日(日)	1998(平成10)年 10月17日(土) ～20日(火) (台風のため日程拡大)	2003(平成15)年 6月28日(土) ・29日(日)	2008(平成20)年 6月28日(土) ・29日(日)	2013(平成25)年 10月19日(土) ・20日(日)	
調査相手	全国16歳以上の国民5,436人(302地点×18人) / 全国16歳以上の国民5,400人(450地点×12人)									
調査方法	個人面接法									
有効数(率)	4,243人 (78.1%)	4,240人 (78.5%)	4,064人 (75.3%)	3,853人 (71.4%)	3,814人 (70.6%)	3,622人 (67.1%)	3,319人 (61.5%)	3,103人 (57.5%)	3,070人 (56.9%)	

<表記について>

1. 表中の数字は、各選択肢の回答数を、上記の有効数で除した結果をパーセント(%)で示したもの(小数点以下第2位を四捨五入)。
2. 表中の不等号(><)は、両側の数字を比較した検定結果(信頼度95%)であり、左側(前回)が高ければ「>」で、低ければ「<」で示した。
3. 右端の不等号は左端の数字と'13年との検定結果である(例えば、第3問の表では'73年と'13年との検定結果)。
4. 調査を実施した時に、選択肢がない場合には「-」で示した。

一欠かせないコミュニケーション行動ー (MA)

第1問 はじめに、ふだんの生活のことについてうかがいます。リストの中で、あなたの気持ちとして、欠かせないと思うことをいくつかあげてください。

	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
ア. 新聞を読む	81.1	79.9 >	76.6	75.6	73.1 >	67.0 >	63.2
イ. 本を読む	33.8	35.4	35.1	35.3	34.7	33.9 <	36.3
ウ. マンガ・劇画を読む	6.5 <	8.7	8.8	9.5	10.7	11.0	12.0
エ. 雑誌を読む(マンガ雑誌を除く)	18.1	18.6 <	21.6	22.4	21.9 >	19.9	19.5
オ. テレビを見る(録画を含む)	83.8	82.5 <	85.8	86.3	85.2	83.5 >	81.1
カ. ラジオを聞く(録音を含む)	32.4 >	30.3 >	27.8	28.4	26.8	26.8	24.8
キ. CDを聞く(レコードやiPodなどを含む)	22.8 <	25.8	26.5	27.0	26.9	26.6	25.4
ク. 携帯電話・スマートフォンを使う	-	-	-	-	39.2 <	49.8 <	55.8
ケ. インターネットを利用する	-	-	-	-	20.0 <	28.8 <	37.8
コ. 家族と話をする	79.8	80.0	79.9	80.2	78.9	79.6	79.7
サ. 友人と話をする	66.1 <	68.2	69.3	68.9	67.8	66.3 >	62.6
シ. この中にはない	0.3	0.3	0.4	0.2	0.3	0.5 >	0.2
ス. わからない、無回答	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1

※'03年に選択肢を追加したため、'98年と'03年、'83年と'13年の比較検定はしていない。

※

※

一欠かせないコミュニケーション行動ー

第2問 [第1問で「ア～サ」の人に]

では、今あげた中で、どうしても欠かせないと思うことを1つだけ選ぶとしたら、どれでしょうか [1番目]。
もう1つ選ぶとしたら、どれでしょうか [2番目]。

1番目だけの結果

1. 新聞を読む	25.9 >	23.5 >	21.1	21.9	18.0 >	15.3	14.8
2. 本を読む	2.0	2.0	2.0	1.9	1.7	2.1	1.7
3. マンガ・劇画を読む	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.3	0.4
4. 雑誌を読む(マンガ雑誌を除く)	0.3	0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2
5. テレビを見る(録画を含む)	18.9 >	16.9 <	22.2 >	19.8	19.8	20.3	19.0
6. ラジオを聞く(録音を含む)	1.6	1.8 >	1.2	1.7	1.6	1.9	1.8
7. CDを聞く(レコードやiPodなどを含む)	1.7 <	2.4	1.9	1.8	1.3	0.9	1.2
8. 携帯電話・スマートフォンを使う	-	-	-	-	4.9 <	7.3 <	8.7
9. インターネットを利用する	-	-	-	-	2.1 <	3.4 <	5.1
10. 家族と話をする	40.6	42.6	40.4	41.6	42.0	40.5	41.0
11. 友人と話をする	7.9	9.0	9.1	10.0	7.0	6.0	5.3
12. わからない、無回答	0.5	0.8	0.9 >	0.5	0.5 <	1.1	0.7
13. 非該当 [第1問で「シ、ス」の人]	0.3	0.4	0.5 >	0.2	0.5	0.7 >	0.3

※

※

1番目+2番目の結果

	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 新聞を読む	51.3 >	47.1 >	41.3	41.1	35.7 >	30.4	29.1
2. 本を読む	5.9	6.0	5.9	5.6	5.3	5.4	4.9
3. マンガ・劇画を読む	0.5	0.6 <	1.1	0.9	1.0	0.8	1.3
4. 雑誌を読む (マンガ雑誌を除く)	1.1	1.1	1.5	1.4	0.7	0.5	0.8
5. テレビを見る (録画を含む)	43.6 >	41.2 <	48.0	46.5	44.2	42.2	39.8
6. ラジオを聞く (録音を含む)	4.9	4.8	3.9	3.8	3.7 <	4.9	3.9
7. CDを聞く (レコードやiPodなどを含む)	4.6 <	6.0	5.3	4.6	3.6	3.1	3.2
8. 携帯電話・スマートフォンを使う	—	—	—	—	10.3 <	15.1 <	19.0
9. インターネットを利用する	—	—	—	—	4.4 <	8.4 <	11.0
10. 家族と話をする	60.1	59.8	58.5	58.1	56.6	56.2	54.9
11. 友人と話をする	23.4 <	27.0	26.9 <	29.3	25.2 >	21.5	20.8
12. わからない, 無回答	3.4 <	4.7 <	5.7 <	7.8	7.9	9.0	10.0
13. 非該当 [第1問で「シ、ス」の人]	0.3	0.4	0.5 >	0.2	0.5	0.7 >	0.3

※

※

—生活の各側面についての満足感—

第3問 次に、日ごろの暮らしについて、リストのように4つに分けておたずねします。AからDまでの1つ1つについて、「そう思う」か、「そうは思わない」かをお答えください。

A. 着るものや食べもの、住まいなど、物質的に豊かな生活を送っている

	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. そう思う	58.5 <	66.0 <	71.0	69.6 <	72.6	73.7	73.8	72.2 <	79.1 <
2. そうは思わない	36.1 >	28.2 >	25.7	27.3 >	23.8	23.4	22.6	22.9 >	18.1 >
3. わからない, 無回答	5.4	5.7 >	3.3	3.1	3.6	2.9	3.6 <	4.9 >	2.7 >

B. 生きがいを持ち、心にハリや安らぎのある生活を送っている

1. そう思う	67.4 <	72.1	72.0	71.2	71.9	70.4	69.7 <	72.7 <	76.2 <
2. そうは思わない	25.6 >	20.4 <	22.8	22.8	22.9	24.3	25.0 >	21.9 >	19.4 >
3. わからない, 無回答	7.0	7.6 >	5.1	6.0	5.3	5.3	5.3	5.4	4.4 >

C. 環境がととのい、安全で快適に過ごせる地域に住んでいる

1. そう思う	59.7 <	67.3 <	69.7	70.3	72.2	74.0	75.3 <	80.0 <	87.0 <
2. そうは思わない	36.6 >	28.6	27.2	26.3	24.6 >	22.4	20.5 >	16.0 >	10.7 >
3. わからない, 無回答	3.7	4.1 >	3.1	3.3	3.2	3.6	4.2	4.0 >	2.4 >

D. この地域や自分の職場・学校には、打ちつけて話し合ったり、気持ちよくつきあえる人が多い

1. そう思う	65.9 <	71.3 >	69.0	70.3	71.9 >	68.7	69.9	71.2	71.5 <
2. そうは思わない	28.4 >	22.4 <	25.2	24.6 >	22.3 <	25.3	24.0	22.8	23.7 >
3. わからない, 無回答	5.7	6.3	5.8	5.1	5.8	6.0	6.1	6.1 >	4.8

—生活全体についての満足感—

第4問 あなたは今の生活に、全体としてどの程度満足していますか。リストの中から、あなたのお気持ちに近いものをあげてください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 満足している	満足	20.7 <	24.0 <	25.9	24.8	25.9	26.1	25.4 <	27.6 <	34.0 <
2. どちらかといえば、満足している	やや満足	56.8 <	61.1	60.5	61.3	61.3	60.6	60.5	59.1	57.3
3. どちらかといえば、不満だ	やや不満	18.2 >	12.3	11.4	11.4	10.4	11.3	11.5	10.7 >	7.1 >
4. 不満だ	不満	3.2 >	1.9	1.7	1.8	1.7	1.6	1.9	2.0 >	1.3 >
5. わからない、無回答	DK, NA	1.0 >	0.6	0.6	0.7	0.8 >	0.4	0.7	0.6	0.3 >

—貯蓄・消費態度—

第5問 今かりに、お宅の1か月分程度の臨時収入が、あなたの手に入ったとします。あなたはそのお金をどうするのがいちばんいいと思いますか。リストの中から選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 先のことは考えないで、思いきりよく使ってしまう	無計画消費	11.3	11.0	11.2 <	12.8	12.3	12.2 >	10.5	9.9	9.7 >
2. 何に使うか計画をたてて、その費用にあてる	計画的消費	42.4	41.4	39.5 <	42.4	42.8	44.3	46.2	43.9	46.3 <
3. 将来必要となるかもしれないから、貯蓄しておく	貯蓄	43.9	45.3	47.1 >	42.0	42.3	41.1	40.4 <	43.2	41.5 >
4. その他		0.4 <	1.0	1.3	1.1	1.1	1.1	1.1	1.4	1.0 <
5. わからない、無回答	DK, NA	2.1 >	1.4 >	0.9 <	1.7	1.5	1.2	1.7	1.6	1.6

—生活目標—

第6問 人によって生活の目標もいろいろですが、リストのように分けると、あなたの生活目標にいちばん近いのはどれですか。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. その日その日を、自由楽しく過ごす	快志向	21.0	19.9 <	22.4 <	25.0 >	23.0 <	25.1	24.1	24.0	25.6 <
2. しっかりと計画をたてて、豊かな生活を築く	利志向	32.5	30.7	31.9 >	28.5	28.6 >	25.5	26.0 >	23.5	22.9 >
3. 身近な人たちと、なごやかな毎日を送る	愛志向	30.5 <	35.2	35.4 <	38.5	39.7	41.4	41.4 <	45.1	45.0 <
4. みんなと力を合わせて、世の中をよくする	正志向	13.8	12.7 >	9.1 >	6.5	6.6	6.5	6.7	5.6	5.3 >
5. その他		0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2
6. わからない、無回答	DK, NA	2.0 >	1.4	1.0	1.2	1.7	1.2	1.7	1.5	1.0 >

—生活充実手段—

第7問 リストには、私たちの生活を充実させるために必要と思われる項目を、5つ並べてあります。この中から、あなたが必要だと思われる順に、項目をあげてください。

A. 豊かな趣味

1. 第1位	1.3	1.6	1.9 <	2.9	3.2	3.7	3.6	4.3	3.6 <
2. 第2位	4.9 <	6.1	6.0 <	8.4	9.3	9.9	10.3	9.4	9.1 <
3. 第3位	10.7	11.9	12.2 <	14.7	15.8	16.9	15.6	15.8	16.9 <
4. 第4位	23.1	23.7	22.4	23.6	25.4	24.8	25.8	25.5 >	22.6
5. 第5位	55.5 >	52.0	53.7 >	48.0 >	43.8	41.7	42.6	41.7 <	45.0 >
6. わからない、無回答	4.6	4.6	3.8 >	2.4	2.5	3.0 >	2.0 <	3.4	2.8 >

B. やりがいのある仕事や活動

	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 第1位	9.0	8.8	8.0	7.8	7.2	7.3	8.1 >	6.3	6.3 >
2. 第2位	26.7	27.0	26.9 >	24.8	24.1 >	21.7	21.6	21.9	21.8 >
3. 第3位	29.0	29.1	29.6	28.3	27.4	26.0	26.7 >	23.8	24.5 >
4. 第4位	19.8	18.5	19.1	20.3	20.2	21.3	21.4	22.1	23.1 <
5. 第5位	11.5	12.4	12.6 <	16.3 <	18.2 <	21.0	19.9	21.8	21.2 <
6. わからない, 無回答	3.9	4.3	3.8 >	2.4	2.8	2.7	2.4 <	4.0	3.1

C. 経済力

1. 第1位	6.8	7.4	8.5 >	7.0 <	8.9 >	7.6 <	9.6	9.2 <	10.8 <
2. 第2位	35.3	33.8	32.9	33.0	31.5	32.9	34.4	32.5	32.7 >
3. 第3位	26.0	24.4	23.8	25.0	24.3	24.4	23.5	24.2	24.7
4. 第4位	16.7	17.4	17.9	18.1	17.7	17.7 >	15.6	16.6	16.7
5. 第5位	11.7	13.1	13.5	14.4	15.2	14.7	14.8	14.1	12.8
6. わからない, 無回答	3.6	3.9	3.4 >	2.5	2.3	2.6	2.1 <	3.4 >	2.3 >

D. なごやかなつきあい

1. 第1位	3.7	4.2	3.9	4.3	4.6	4.6	4.7	5.2	5.0 <
2. 第2位	18.9	19.5	20.1	20.0	20.9	21.6 >	18.8 <	21.4	21.4 <
3. 第3位	25.7	24.9	26.4	24.9	24.9	24.7	25.7	26.6	25.2
4. 第4位	33.4	32.6	33.3	32.4 >	30.3	29.4	31.2 >	28.2 <	30.9 >
5. 第5位	15.4	15.9 >	13.8 <	16.3	17.5	17.6	18.0 >	15.9	15.6
6. わからない, 無回答	2.9	2.8	2.5	2.1	1.8	2.1	1.6 <	2.7 >	1.9 >

E. 健康な体

1. 第1位	78.3	77.2	77.3	77.1	75.4	75.5 >	73.3	74.1	74.0 >
2. 第2位	12.3	11.8	13.1	12.5	13.1	12.4	13.7	12.9	14.0 <
3. 第3位	5.1	6.0	5.2	4.9	5.5	5.7	6.7	6.5	6.1
4. 第4位	2.1	2.5	2.6	2.8	3.3	3.4	3.4	3.4	3.5 <
5. 第5位	0.8 <	1.3	1.3 <	1.9	1.9	1.5	2.1	2.0	1.9 <
6. わからない, 無回答	1.3	1.2 >	0.6	0.9	0.8 <	1.4 >	0.8	1.2 >	0.6 >

—理想の家庭—

第8問 リストには、異なった4軒の家庭の様子が書いてあります。あなたはどの家庭が最も好ましいとお考えですか。

東さん：父親は一家の主人としての威厳をもち、母親は父親をもちたてて、心から尽くしている

西さん：父親も母親も、自分の仕事や趣味をもっていて、それぞれ熱心に打ち込んでいる

南さん：父親は仕事に力を注ぎ、母親は任された家庭をしっかりと守っている

北さん：父親はなにかと家庭のことにも気がつかない、母親も暖かい家庭づくりに専念している

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 東さん	夫唱婦随	21.9	20.7 <	23.0 >	20.2 >	17.4 >	12.6	13.2	12.7 >	10.3 >
2. 西さん	夫婦自立	14.5	16.0	16.1	17.5	19.0 <	22.6	23.0 >	19.5 <	23.5 <
3. 南さん	性役割分担	39.2	37.6 >	29.2 >	25.0 >	19.9 >	16.7 >	14.7	15.5	14.9 >
4. 北さん	家庭内協力	21.2	22.9 <	29.3 <	34.5 <	41.1 <	45.3	45.8 <	48.4	48.0 <
5. その他		0.0	0.1	0.1	0.3	0.3	0.2	0.2	0.4 >	0.1
6. わからない, 無回答	DK, NA	3.1	2.7	2.3	2.4	2.3	2.7	3.1	3.4	3.2

－人間関係（親せき）－

第9問 親せきとは、どんなつきあいをするのが望ましいと思いますか。リストの中からお答えください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 一応の礼儀を尽くす程度のつきあい	形式的つきあい	8.4	8.6 <	9.9 <	12.5 <	15.8	17.3 <	20.0	21.6 <	24.2 <
2. 気軽に行き来できるようなつきあい	部分的つきあい	39.7	40.1 <	45.2	45.3	46.5	46.4	46.8 >	42.8	42.2 <
3. なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい	全面的つきあい	51.2	50.5 >	44.3 >	41.2 >	36.6	35.6 >	32.2 <	34.8 >	32.4 >
4. その他		0.1	0.1	0.2	0.1 <	0.3 >	0.1	0.2	0.1 <	0.4 <
5. わからない、無回答	DK, NA	0.7	0.7 >	0.3 <	0.8	0.8	0.7	0.9	0.8	0.8

－権威・平等（社会的地位）－

第10問 リストの甲、乙どちらかの人に、結婚式の仲人を頼むとしたら、どちらの人がよいと思いますか。

甲：社会的地位は低いが、結婚する2人をよく知っている人

乙：結婚する2人を十分には知らないが、ある程度社会的地位の高い人

	(略称)									
1. 甲の人がよい	平等	84.7	84.4	84.7 >	82.3	83.7 <	86.1	87.0	87.1	86.8 <
2. 乙の人がよい	権威	10.4	11.0	11.0 <	13.0	11.7 >	9.8 >	8.2	8.8	9.3
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	4.9	4.6	4.3	4.7	4.6	4.1	4.8	4.2	3.9 >

－男女のあり方（名字）－

第11問 一般に、結婚した男女は、名字をどのようにしたらよいとお考えですか。リストの中からお答えください。

	(略称)									
1. 当然、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のべきだ	当然、夫の姓	45.6	43.7 <	46.6 >	41.6 >	36.2 >	32.6 >	29.2 <	32.5	32.6 >
2. 現状では、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のったほうがよい	現状では夫の姓	26.5	27.4	27.4	28.9	27.1 >	24.6	24.7	24.9	23.9 >
3. 夫婦は同じ名字を名のべきだが、どちらが名字を改めてもよい	どちらでもよい	22.7	23.9 >	21.2	22.8 <	26.3 <	29.2	29.8	28.3 <	30.7 <
4. わざわざ一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のままよい	別姓でよい	2.9	3.2	3.3 <	4.7 <	7.8 <	11.5 <	13.3 >	11.3	10.7 <
5. その他		0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.3	0.4	0.5 <
6. わからない、無回答	DK, NA	2.2	1.8	1.3	1.7	2.3 >	1.6 <	2.7	2.5 >	1.6

－男女のあり方（家庭と職業）－

第12問 結婚した女性が職業をもち続けることについては、どうお考えでしょうか。リストの中から、あなたのお考えに近いものを選んでください。

	(略称)									
1. 結婚したら、家庭を守ることに専念したほうがよい	家庭専念	35.2 >	30.1	28.6 >	23.9 >	18.3 >	13.4	12.6	12.0	10.6 >
2. 結婚しても子どもができるまでは、職業をもっていたほうがよい	育児優先	42.0	40.5	39.8	39.4	41.0 >	37.8 >	34.9	36.6 >	30.6 >
3. 結婚して子どもが生まれても、できるだけ職業をもち続けたほうがよい	両立	20.3 <	27.1 <	29.3 <	33.3 <	37.1 <	45.5 <	48.5	48.1 <	56.3 <
4. その他		0.2 <	0.6	0.8 <	1.3	1.2	1.0	1.3	1.0	1.2 <
5. わからない、無回答	DK, NA	2.3 >	1.7	1.5	2.0	2.4	2.3	2.8	2.3 >	1.3 >

－権威・平等（男女）－

第13問 リストには、父親が台所の手伝いや子どものおもりをする事について、甲、乙2つの意見をのせてあります。あなたはどちらに賛成しますか。

甲：台所の手伝いや子どものおもりは、一家の主人である男子のすることではない

乙：夫婦は互いにたすけ合うべきものだから、夫が台所の手伝いや子どものおもりするのは当然だ

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 甲に賛成	すべきでない	38.0 >	33.1 >	28.1 >	21.9 >	17.7 >	12.0 >	9.6	9.7	8.3 >
2. 乙に賛成	するのは当然	53.2 <	59.6 <	67.4 <	72.3 <	76.6 <	84.4 <	86.1	86.3 <	89.3 <
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	8.8 >	7.3 >	4.5 <	5.8	5.7 >	3.6	4.3	4.0 >	2.4 >

－父親のあり方－

第14問 ことし学校を卒業して社会に出た男の子がいるとします。父親はその子に対して、どういう態度をとるのがいちばんいいとお考えですか。リストの中から、選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. みずから模範を示し、見習わせる	模範	8.3 <	9.6	9.2 >	6.7	6.6 >	5.5	5.0	5.9	5.0 >
2. より多く人生の経験を積んだ者として、忠告や助言を与える	忠告	41.0 <	44.2	45.0	43.0	41.6	41.3 <	44.9 <	47.8	46.8 <
3. ひとりの同じ人間として、親しい仲間のようにつきあう	仲間	32.1 >	29.7 >	27.3	28.3	27.7	29.0 >	25.6 >	22.1	23.0 >
4. 子どもを信頼して、干渉しない	干渉	15.0	13.9 <	16.4 <	19.6 <	21.8	22.0	21.7	21.5	23.1 <
5. その他		0.1 >	0.0 <	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2
6. わからない、無回答	DK, NA	3.5 >	2.6	2.0	2.1	2.1	1.9 <	2.7	2.5	1.9 >

－老後の生き方－

第15問 リストには、いろいろな老後の生き方がのっています。この中であなたはどれが最も望ましいと思いますか。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 子どもや孫といっしょに、なごやかに暮らす	子供や孫	37.9	36.4	34.6 >	31.2 >	27.3 >	23.9	24.2 <	27.6	26.3 >
2. 夫婦2人で、むつまじく暮らす	夫婦	10.0 >	8.7 <	11.1 <	13.5 <	16.1	17.1	17.5 <	19.9	20.4 <
3. 自分の趣味をもち、のんびりと余生を送る	趣味	19.8 <	22.4	22.2 <	25.2 <	29.1 <	31.8	33.2 >	28.6	28.3 <
4. 多くの老人仲間と、にぎやかに過ごす	老人仲間	2.2	2.8	3.3	4.0	4.6	5.0	4.2	5.2	5.7 <
5. 若い人たちとつきあって、ふけこまないようにする	若者	7.7	6.9	6.1	6.6	6.5	6.1	5.8 >	4.7	4.7 >
6. できるだけ、自分の仕事をもち続ける	仕事	20.4	21.6	21.7 >	18.3 >	14.8	15.0 >	13.0	12.3	13.7 >
7. その他		0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1
8. わからない、無回答	DK, NA	2.0 >	1.1	0.8	1.0 <	1.5 >	0.9 <	1.8	1.5 >	0.9 >

－能率・情緒（仕事の相手）－

第16問 かりにあなたが、リストにあげた甲、乙いずれかの人と組んで仕事をするとします。その仕事がかかりむずかしく、しかも長期間にわたる場合、あなたはどちらの人を選びたいと思いますか。

甲：多少つきあいにくいが、能力のすぐれた人

乙：多少能力は劣るが、人柄のよい人

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 甲の人を選ぶ	能率	26.9	25.2	24.4	25.0	24.6	25.2 <	29.0	28.1	27.0
2. 乙の人を選ぶ	情緒	68.0 <	70.4	72.1	71.1	70.8	71.1 >	66.9	68.1	70.3 <
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	5.0	4.4 >	3.5	3.9	4.6	3.7	4.1	3.9 >	2.7 >

－人間関係（職場）－

第17問 職場の同僚とは、どんなつきあいをするのが望ましいと思いますか。リストの中からお答えください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 仕事に直接関係する範囲のつきあい	形式的つきあい	11.3	10.4 <	13.6	15.1 <	17.8 <	20.3	21.7 <	24.1	26.2 <
2. 仕事が終わってからも、話し合ったり遊んだりするつきあい	部分的つきあい	26.4 <	31.4	32.3 <	37.6	38.8	38.9	37.5 >	34.3	35.3 <
3. なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい	全面的つきあい	59.4 >	55.3 >	52.3 >	44.6 >	40.4	38.3	37.8	38.9 >	36.4 >
4. その他		0.1 >	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
5. わからない、無回答	DK, NA	2.8	3.0 >	1.8 <	2.5	2.9	2.4	2.9	2.6	2.0 >

－結社・競争性（職場）－

第18問 かりにあなたが、新しくできた会社に雇われたとします。しばらくしてから、雇われた人々の間で、給料とか働く時間などの労働条件について、強い不満が起きたとしたら、あなたはどうかしますか。リストの中から選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. できたばかりの会社で、労働条件はしだいによくなっていくと思うから、しばらく事態を見守る	静観	37.2 <	41.6 <	47.6	48.2 >	45.4 <	49.3	50.2	50.2	51.5 <
2. 上役に頼んで、みんなの労働条件がよくなるように、取りはからってもらおう	依頼	23.6 >	21.6	22.4	23.6 <	26.1	25.1	25.5	26.4	27.7 <
3. みんなで労働組合をつくり、労働条件がよくなるように活動する	活動	31.5	30.7 >	25.1 >	22.0	21.9	20.5 >	18.2	17.8	16.5 >
4. その他		0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.5 <
5. わからない、無回答	DK, NA	7.7 >	5.9 >	4.6 <	5.9	6.2 >	4.7 <	5.8	5.3 >	3.7 >

－理想の仕事－

第19問 仕事にもいろいろありますが、どんな仕事が理想的だと思いますか。あなたがいちばん理想的だと思う仕事と、2番目にそう思う仕事とを、リストの中から選んでください。

1番目だけの結果

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 働く時間が短い仕事	時間	5.2 >	4.2	3.9	3.8 <	5.0	4.3	3.7	4.0	4.1 >
2. 失業の心配がない仕事	失業	11.0 <	17.6	16.3 >	14.4 >	12.3 <	15.9	17.0	16.0 <	19.1 <
3. 健康をそこなう心配がない仕事	健康	28.2 >	21.7	21.1	19.6	20.3 >	18.4 >	15.5	16.9	17.3 >
4. 高い収入が得られる仕事	収入	6.2	6.8	7.5	8.0 <	9.9 >	7.2	8.3	7.8	6.8
5. 仲間と楽しく働ける仕事	仲間	14.5	15.2 <	16.8 <	19.1 <	21.2	20.8	20.3	21.4	19.6 <
6. 責任者として、さいはいが振るえる仕事	責任	2.0	2.5 <	3.3	4.0 >	2.8	2.5	2.2	2.5	2.6
7. 独立して、人に気がねなくやれる仕事	独立	9.7	8.5	7.8	6.7 >	4.6	5.2 >	4.2	3.3	2.7 >
8. 専門知識や特技が生かせる仕事	専門	14.7	15.9	17.5	18.0	16.6	18.2 <	20.1 >	17.7	17.6 <
9. 世間からもてはやされる仕事	名声	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
10. 世の中のためになる仕事	貢献	6.2 >	5.1	4.2	4.6	5.3	5.9	7.0	7.9	8.8 <
11. その他		0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1 >	0.0	0.0	0.1
12. わからない、無回答	DK, NA	2.1	2.2 >	1.3	1.5	1.8	1.5	1.6 <	2.5 >	1.3 >

1番目+2番目の結果

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 働く時間が短い仕事	時間	8.3 >	6.8	6.8	7.3 <	9.4	8.3 >	6.7	7.3	7.6
2. 失業の心配がない仕事	失業	20.2 <	28.6	27.0 >	23.7 >	21.5 <	26.2 <	29.3	27.3 <	31.1 <
3. 健康をそこなう心配がない仕事	健康	46.5 >	38.6	37.9	36.1	36.4 >	33.9 >	31.4 <	33.7	32.7 >
4. 高い収入が得られる仕事	収入	19.2	19.6 <	22.0	23.2	23.9 >	20.2 <	22.2 >	19.7	17.8
5. 仲間と楽しく働ける仕事	仲間	36.6	36.8	38.6 <	42.5	43.8	43.5	41.3	42.5	42.7 <
6. 責任者として、さいはいが振るえる仕事	責任	4.5 <	5.5	6.4	7.0	6.2	5.6	5.6	5.1	4.9
7. 独立して、人に気がねなくやれる仕事	独立	17.3 >	15.7 >	14.0	12.7 >	9.1	10.0 >	8.0 >	6.4	5.4 >
8. 専門知識や特技が生かせる仕事	専門	26.0 <	28.4	29.9	30.2 >	28.1 <	30.9	31.5 >	29.2	29.2 <
9. 世間からもてはやされる仕事	名声	0.4	0.7	0.8	0.5	0.8 >	0.3	0.6	0.6	0.4
10. 世の中のためになる仕事	貢献	15.6 >	13.4	12.8	12.2 <	16.0	16.7 <	19.1 <	21.6 <	24.2 <
11. その他		0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1
12. わからない、無回答	DK, NA	3.2	3.4 >	2.4	2.8	2.8	2.8	2.6 <	4.2 >	2.6

－余暇の過ごし方（現状）－

第20問 余暇についてですが、現在あなたはどんなことをして、自分の自由になる時間を過ごしていることが多いですか。リストの中から、いちばん多いものと2番目に多いものをお答えください。

1番目だけの結果

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 好きなことをして楽しむ	好きなこと	42.9	44.0 >	40.9 <	44.3	43.9	44.9	43.9 <	47.0	47.2 <
2. 体をやすめて、あずに備える	休息	26.6 >	24.1	23.6 >	20.1	19.6	18.8	19.0	17.6	17.8 >
3. 運動をして、体をきたえる	運動	4.5 <	6.8	7.8	7.3	7.3	7.8	7.4	7.3	8.2 <
4. 知識を身につけたり、心を豊かにする	知識	10.3 >	8.8	9.6	9.3	8.9	8.1	8.0	7.7	8.3 >
5. 友人や家族との結びつきを深める	友人・家族	12.1	13.2 <	15.6	16.6	18.1	18.3	18.7	17.6	16.1 <
6. 世の中のためになる活動をする	社会活動	1.9	1.9	1.7	1.5 >	0.9 <	1.6	1.7	1.4	1.3 >
7. その他		0.1 <	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.5 <
8. 無回答	NA	1.6 >	1.0 >	0.5	0.7	0.9 >	0.2 <	1.0	1.2 >	0.5 >

1 番目 + 2 番目の結果

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 好きなことをして楽しむ	好きなこと	61.5	62.3 >	59.8 <	63.5	63.4 <	66.7	66.1	66.7	68.7 <
2. 体をやすめて、あずに備える	休息	47.9 >	44.3	43.7 >	41.2	41.1	39.8	40.6	39.9	39.3 >
3. 運動をして、体をきたえる	運動	12.8 <	16.7	17.5	17.5	17.0	17.0	17.2	18.4	19.2 <
4. 知識を身につけたり、心を豊かにする	知識	26.6	24.8	23.6	23.2	21.4	21.6	20.7	19.4	20.1 >
5. 友人や家族との結びつきを深める	友人・家族	39.8	41.5 <	46.8	46.2 <	48.6	47.0	45.4	45.0	43.6 <
6. 世の中のためになる活動をする	社会活動	6.5	6.2 >	5.2	4.8	4.6	5.5	6.0	5.4	5.4
7. その他		0.1 <	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.7 <
8. 無回答	NA	3.1	2.8	2.4	2.5	2.5	1.9 <	2.6 <	3.5 >	2.6

－余暇の過ごし方(将来)－

第21問 将来はどんなことをして、自由になる時間を過ごしたいとお考えですか。今度は1つだけ選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 好きなことをして楽しむ	好きなこと	37.3	35.5	35.4 <	38.9	38.7	38.0	38.3	38.0 <	40.6 <
2. 体をやすめて、あずに備える	休息	6.9	6.0	5.4	4.7	5.2	4.9	5.4	5.9	5.6 >
3. 運動をして、体をきたえる	運動	4.5 <	8.0	7.3	7.2	6.8	7.0	6.5	7.3	8.4 <
4. 知識を身につけたり、心を豊かにする	知識	23.9	23.6	24.5	22.9 >	20.0	20.4	18.6	17.0	15.9 >
5. 友人や家族との結びつきを深める	友人・家族	15.7	16.0	17.6	18.1	18.1	19.3	20.6	20.3	19.9 <
6. 世の中のためになる活動をする	社会活動	8.9	8.9	8.5 >	6.8 <	9.5	9.2	9.0	9.5 >	8.0
7. その他		0.0 <	0.2	0.2	0.2	0.4	0.2	0.1	0.3	0.3 <
8. わからない、無回答	DK, NA	2.7 >	1.8 >	1.0	1.2	1.4	1.1	1.4	1.6	1.4 >

－仕事と余暇－

第22問 リストには、仕事と余暇のあり方について、いろいろな意見がのっています。あなたはどれが最も望ましいと思いますか。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 仕事よりも、余暇の中に生きがいを求める	余暇絶対	4.0	4.1 <	5.6	5.7 <	7.4 <	8.8	8.6	9.4	10.7 <
2. 仕事はさっさとかたづけて、できるだけ余暇を楽しむ	余暇優先	28.1 >	25.3	25.5 <	28.3	28.7	28.3 >	25.6	26.1	26.0 >
3. 仕事にも余暇にも、同じくらい力を入れる	仕事・余暇両立	20.9 <	24.9 <	27.9 <	32.4 <	35.3	35.1 <	37.5 >	34.9	35.9 <
4. 余暇も時には楽しむが、仕事のほうに力を注ぐ	仕事優先	35.7	34.9 >	31.2 >	26.1 >	21.2	20.5	21.1	21.4	20.5 >
5. 仕事に生きがいを求めて、全力を傾ける	仕事絶対	8.2	8.5	7.8 >	5.1	4.6	5.1	4.4	4.7	4.5 >
6. その他		0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
7. わからない、無回答	DK, NA	3.2 >	2.3	1.9	2.2	2.7	2.3	2.7	3.4 >	2.2 >

－能率・情緒(旅行)－

第23問 リストには、旅行のしかたが甲、乙2つあります。どちらがあなたの好みに合っていますか。費用や時間は甲、乙2つとも同じくらいとして考えてみてください。

甲：最大限に旅行を楽しめるように、あらかじめ計画を十分に練って旅行する

乙：行く先々での気分やまわりの様子に応じて、気の向くままに旅行する

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 甲が好みに合う	能率	61.0 <	63.3 >	60.7	59.5	57.7	56.2	56.8	58.9	58.5 >
2. 乙が好みに合う	情緒	34.6	33.4 <	36.2	37.5	38.6 <	41.0	39.6	37.7	39.0 <
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	4.4 >	3.3	3.1	3.0	3.7 >	2.8	3.6	3.4 >	2.5 >

－男女のあり方（男子の教育）－

第24問 話は変わりますが、今かりにあなたに中学生の男のお子さんがいるとします。あなたはそのお子さんに、どの程度の教育を受けさせたいと思いますか。リストの中から選んでください。

	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 中学まで	0.5	0.3	0.3	0.1	0.3 <	0.6	0.3 <	0.7	0.4
2. 高校まで	17.1 >	14.6	15.4 >	11.4	11.5 <	13.6 >	11.4	11.8	10.5 >
3. 短大・高専まで	8.7	9.2	9.7	8.5	8.9	10.0	9.2	8.7	9.7
4. 大学まで	64.1 <	67.5	68.0 <	72.2 >	70.0 >	67.1	67.7	67.9 <	70.3 <
5. 大学院まで	6.1	5.9 >	4.5	5.3	5.7	5.7 <	7.7	7.0	6.7
6. その他	0.1 <	0.4 <	0.8	0.8 <	1.4	1.5	1.7	1.4	1.2 <
7. わからない、無回答	3.4 >	2.2 >	1.4	1.7	2.2	1.6	2.0	2.5 >	1.2 >

－男女のあり方（女子の教育）－

第25問 では、かりに、中学生の女のお子さんがいるとしたらどうでしょうか。同じリストの中から選んでください。

1. 中学まで	1.0 >	0.5	0.5 >	0.2	0.3	0.4	0.3	0.6	0.3 >
2. 高校まで	42.3 >	33.6 >	30.2 >	20.8 >	18.4	17.8 >	13.9	13.3 >	11.5 >
3. 短大・高専まで	30.0 <	38.5 <	43.3	43.9 >	39.8 >	34.1 >	30.3 >	27.0	25.2 >
4. 大学まで	21.7 <	23.5	22.8 <	31.0 <	35.4 <	41.1 <	47.7 <	51.7 <	56.7 <
5. 大学院まで	1.4	1.3	1.1 <	1.7 <	2.4	3.1	3.9	3.6	3.7 <
6. その他	0.2	0.4	0.6	0.8 <	1.4	1.7	1.9	1.4	1.3 <
7. わからない、無回答	3.4 >	2.1 >	1.5	1.7	2.3	1.7	2.0	2.4 >	1.3 >

－理想の人間像－

第26問 今の世の中で、子どもたちがどんな人間に育つことがいちばん望ましいと思いますか。リストの中から1つだけ選んでください。

	(略称)									
1. 秩序を守る、規律正しい人間	規律型	21.5 <	23.7 <	30.0 >	23.2 >	21.2	22.3 <	26.7 <	29.2 >	26.8 <
2. お互いの権利や生活を尊ぶ人間	権利型	16.8	16.4	16.4	17.0 <	19.8	19.7	18.7	17.5 >	14.5 >
3. 実社会で役立つ知識や技能を身につけた人間	実用型	22.2	21.0 >	18.8	18.1	17.8	18.2	16.8 >	14.4 <	19.5 >
4. 教養があり、心が豊かな人間	教養型	36.7	36.9 >	33.4 <	40.0	39.0	38.7 >	36.3	36.6	37.9
5. その他		0.0	0.1 <	0.4	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.2 <
6. わからない、無回答	DK, NA	2.8 >	1.9 >	1.1	1.5	1.8 >	0.8 <	1.3	1.8 >	1.1 >

一宗教的行動一 (MA)

第27問 宗教とか信仰とかに関係すると思われることがらで、あなたがおこなっているものがありますか。ありましたら、リストの中からいくつでもあげてください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
ア. ふだんから、礼拝、お勤め、修行、布教など宗教的なおこないをしている	礼拝・布教	15.4	16.0	17.0 >	14.9 >	13.2 >	11.4	12.4	12.3	11.4 >
イ. おりにふれ、お祈りやお勤めをしている	お祈り	16.6	15.8	15.8 >	14.2	14.1	12.7	12.0	12.4	11.8 >
ウ. 年に1, 2回程度は墓参りをしている	墓参り	62.0 <	64.8 <	67.7 >	65.0 <	69.7 >	67.5	67.6	68.4 <	72.0 <
エ. 聖書・経典など宗教関係の本を、おりにふれ読んでいます	聖書・経典	10.7	10.6	10.4 >	8.9 >	7.4	6.8	6.4	5.4	6.0 >
オ. この1, 2年の間に、身の安全や商売繁盛、入試合格などを、祈願しにいったことがある	祈願	23.0 <	31.2	31.6	32.2 >	28.4	29.1 <	31.3	29.7	28.7 <
カ. お守りやおふだなど、魔よけや縁起ものを自分の身のまわりにおいている	お守り・おふだ	30.6 <	34.4	36.2	34.6	32.8 >	30.6 <	35.0	34.9	34.7 <
キ. この1, 2年の間に、おみくじを引いたり、易や占いをしてもらったことがある	おみくじ・占い	19.2 <	22.8	21.9	20.5	22.2	22.7	23.4	25.3	24.8 <
ク. 宗教とか信仰とかに関係していると思われることから、何もおこなっていない	していない	15.4 >	11.7 >	9.6	9.9	8.8 <	11.4	10.2 >	8.7	7.5 >
ケ. その他		0.2	0.3	0.4	0.5	0.4 <	0.8	0.6	0.7	1.0 <
コ. 無回答	NA	1.4	1.8 >	1.0 <	1.9 <	2.6 >	1.7 <	3.0	3.3	2.5 <

一信仰・信心一 (MA)

第28問 また、宗教とか信仰とかに関係すると思われることがらで、あなたが信じているものがありますか。もしあれば、リストの中からいくつでもあげてください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
ア. 神	神	32.5 <	37.0	38.9 >	36.0	35.2 >	31.5	30.9	32.5	31.9
イ. 仏	仏	41.6 <	44.8	43.8	44.6	44.1 >	38.7	38.6 <	42.2	40.9
ウ. 聖書や経典などの教え	聖書・経典の教え	9.7	9.3	8.9 >	7.5	6.4	6.6	6.4	6.4	5.8 >
エ. あの世、来世	あの世	6.6 <	9.0 <	11.7	11.9 <	13.4 >	9.7	10.9 <	14.6	13.4 <
オ. 奇跡	奇跡	12.8 <	14.9	15.1	14.4 >	12.6 <	14.3	15.3 <	17.5	16.4 <
カ. お守りやおふだなどの力	お守り・おふだの力	13.6 <	15.8	15.5	14.4	15.8 >	13.7	15.0 <	17.4	16.7 <
キ. 易や占い	易・占い	6.0 <	8.3	8.3 >	7.0	5.9	6.0 <	7.4	6.6 >	5.3
ク. 宗教とか信仰とかに関係していると思われることから、何も信じていない	信じていない	30.4 >	23.9	23.3 <	25.8	24.3 <	29.5 >	25.6	23.5 <	25.9 >
ケ. その他		0.2	0.3 <	0.6	0.4 <	0.8 <	1.4 >	0.9	1.3	1.6 <
コ. わからない、無回答	DK, NA	5.3	5.8 >	4.3 <	5.4 <	6.8	5.8 <	8.0	7.9 >	6.4 <

－婚前交渉について－

第29問 結婚していない若い人たちの男女関係について、どのようにお考えですか。リストの中から、あなたのお考えにいちばん近いものを選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 結婚式がすむまでは、性的まじわりをすべきでない	不可	58.2 >	50.3 >	46.5 >	38.7 >	32.3 >	25.6	24.2	22.6	20.7 >
2. 結婚の約束をした間柄なら、性的まじわりがあってもよい	婚約で可	15.2 <	19.5	21.2	22.6	22.8	22.5	22.7	22.7	23.3 <
3. 深く愛し合っている男女なら、性的まじわりがあってもよい	愛情で可	19.0 <	23.1 <	25.2 <	30.9 <	35.1 <	42.8	43.7	44.2	46.2 <
4. 性的まじわりをもつのに、結婚とか愛とかは関係ない	無条件で可	3.3	3.8	4.0	3.6 <	5.1	4.8	4.6	4.4	4.6 <
5. その他		0.1 >	0.0	0.0 <	0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	0.3 <
6. わからない、無回答	DK, NA	4.3 >	3.2	3.1 <	4.1	4.6	4.2	4.6	5.6	5.0

－権威・平等（年上）－

第30問 リストには、ことばづかいについて甲、乙2つの意見がのせてあります。あなたはどちらがよいと思いますか。

- 甲：年上の人に対しては、敬語やていねいなことばを使うのが当然だ
乙：年上の人にも年下の人にも、同じようなことばを使ったほうがよい

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 甲がよい	権威	84.2 <	86.8 <	88.8	87.9 >	86.3	86.9	87.2	87.9	87.9 <
2. 乙がよい	平等	13.7 >	11.7 >	10.0	9.8 <	11.2	11.3	10.0	9.3	10.7 >
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	2.1 >	1.5	1.2 <	2.3	2.5 >	1.8 <	2.8	2.8 >	1.4 >

－人間関係（近隣）－

第31問 リストには、隣近所の人とのつきあいのしかたがのせてあります。あなたはどれが望ましいとお考えですか。実際にどのようなしているかは別にして、ご希望に近いものをお答えください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 会ったときに、あいさつする程度のつきあい	形式的つきあい	15.1	15.1 <	19.6	19.2	19.8 <	23.2	25.2	25.6	27.6 <
2. あまり堅苦しくなく話し合えるようなつきあい	部分的つきあい	49.8 <	52.5 >	47.5 <	53.4	54.2	53.3	54.0	53.7	53.8 <
3. なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい	全面的つきあい	34.5 >	31.9	32.4 >	26.8	24.9 >	22.8 >	19.6	19.4	18.1 >
4. その他		0.0	0.0	0.0	0.0 <	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1 <
5. わからない、無回答	DK, NA	0.5	0.5	0.4	0.6 <	1.1 >	0.6 <	1.1	1.3 >	0.4

－能率・情緒（会合）－

第32問 かりに、この地域に起きた問題を話し合うために、隣近所の人々が10人程度集まったとします。その場合、会合の進め方としては、リストにある甲、乙どちらがよいと思いますか。

- 甲：世間話などをまじえながら、時間がかかってもなごやかに話をすすめる
乙：むだな話を抜きにして、てきぱきと手ざわよくみんなの意見をまとめる

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 甲がよい	情緒	44.5	46.6 <	49.6	51.4	50.9	51.2	52.6	54.4	54.8 <
2. 乙がよい	能率	51.7	50.0	48.0 >	45.1	44.6	45.9 >	43.5	42.1	42.5 >
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	3.8	3.4 >	2.5 <	3.5 <	4.5 >	2.9 <	3.9	3.5	2.7 >

－結社・闘争性（地域）－

第33問 かりにこの地域に、住民の生活を脅かす公害問題が発生したとします。その場合、あなたはどうかしますか。リストの中から、あなたのお考えに最も近いものをあげてください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. あまり波風を立てずに解決される ことが望ましいから、しばらく 事態を見守る	静観	23.2 <	31.1	32.6	32.9	33.1	31.5 >	28.5 <	31.1 <	36.7 <
2. この地域の有力者、議員や役所 に頼んで、解決をはかってもらう	依頼	36.3	37.0	38.1	38.5 >	35.3	36.1 <	42.2	43.5	44.5 <
3. みんなで住民運動を起こし、 問題を解決するために活動する	活動	35.8 >	28.2	26.4	24.8	26.5 <	29.1 >	25.5 >	21.8 >	15.9 >
4. その他		0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.2	0.1	0.2	0.3 <
5. わからない、無回答	DK, NA	4.7 >	3.7 >	2.7 <	3.5 <	4.7 >	3.1	3.7	3.4	2.6 >

－ナショナリズム－

第34問 次に、日本とか日本人とかについて、あなたがお感じになっていることをいくつかおたずねします。リストのAからFまでの、1つ1つについて「そう思う」か「そうは思わない」かをお答えください。

A. 日本に生まれてよかった

1. そう思う	90.5 <	92.6 <	95.6	95.0 <	96.5 >	95.3	95.3	95.5 <	97.3 <
2. そうは思わない	4.6	4.0 >	2.3	2.8 >	1.6 <	2.7	2.1	2.3 >	1.4 >
3. わからない、無回答	4.8 >	3.4 >	2.1	2.3	1.9	2.0	2.6	2.2 >	1.3 >

B. 日本は一流国だ

1. そう思う	41.0 <	46.9 <	56.8 >	50.2	49.2 >	37.5	35.8 <	39.3 <	54.4 <
2. そうは思わない	49.8 >	43.1 >	35.7 <	41.8	43.0 <	54.4	55.9 >	52.8 >	38.4 >
3. わからない、無回答	9.1	10.0 >	7.6	8.0	7.8	8.1	8.3	8.0	7.2 >

C. 日本の古い寺や民家を見ると、非常に親しみを感ずる

1. そう思う	87.5	88.4 >	86.7 >	83.8	83.1	83.5 <	85.4	86.9	87.4
2. そうは思わない	9.3	8.7 <	10.5 <	12.8	13.2	13.6 >	11.2	10.0	10.4
3. わからない、無回答	3.2	2.9	2.8	3.4	3.7	3.0	3.4	3.2 >	2.2 >

D. 日本人は、他の国民に比べて、きわめてすぐれた素質をもっている

1. そう思う	60.3 <	64.8 <	70.6 >	61.5 >	57.1 >	51.0	51.2 <	56.7 <	67.5 <
2. そうは思わない	26.5 >	22.3 >	20.2 <	28.6 <	33.2 <	39.0	39.1 >	34.0 >	24.6
3. わからない、無回答	13.2	12.9 >	9.2	9.9	9.7	10.0	9.8	9.3 >	7.9 >

E. 自分なりに日本のために役にたちたい

1. そう思う	72.6 >	69.0 <	71.8 >	65.7 <	69.0 >	66.0	66.1 <	69.6 <	73.6
2. そうは思わない	17.8 <	19.6	20.0 <	23.5	22.0 <	25.6	24.3 >	20.8	18.9
3. わからない、無回答	9.6 <	11.4 >	8.2 <	10.9 >	9.0	8.4	9.6	9.6 >	7.5 >

F. 今でも日本は、外国から見習うべきことが多い

1. そう思う	70.0	70.2	70.6 <	76.1	76.4 <	80.2 >	77.4 >	74.5	74.1 <
2. そうは思わない	19.4	17.8 <	20.0 >	15.1	14.6 >	12.7 <	14.8 <	16.6	17.8
3. わからない、無回答	10.5 <	12.0 >	9.4	8.8	9.0 >	7.1	7.8	8.9	8.1 >

—天皇に対する感情—

第35問 あなたは天皇に対して、現在、どのような感じをもっていますか。リストの中から選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 尊敬の念をもっている	尊敬	33.3 >	30.2	29.3	27.5 >	20.5	19.2	20.2 <	24.7 <	34.2
2. 好感をもっている	好感	20.3	21.9	20.9	22.1 <	42.7 >	34.5 <	41.0 >	33.5	35.3 <
3. 特に何とも感じていない	無感情	42.7	44.1 <	46.4	46.5 >	33.7 <	44.2 >	36.3	38.6 >	28.4 >
4. 反感をもっている	反感	2.2	2.4	2.2	2.1 >	1.5	1.1	0.8	1.0 >	0.5 >
5. その他		0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1
6. わからない、無回答	DK, NA	1.3	1.3	1.1 <	1.7	1.6 >	0.9 <	1.6	2.1	1.5

—権利についての知識— (MA)

第36問 リストには、いろいろなことがらが並んでいますが、この中で、憲法によって義務ではなく国民の権利と定められているのはどれだと思いますか。いくつでもあげてください。

ア. 思っていることを世間に発表する	49.4 >	45.8	44.0	43.4 >	39.0	37.2	36.2	34.8	36.4 >
イ. 税金を納める	33.9	35.5 <	39.8 >	37.2 <	39.5 <	42.0	42.2	42.8 <	46.8 <
ウ. 目上の人に従う	5.6	5.7 <	8.3	7.7	6.7	7.0	6.6	7.1	8.0 <
エ. 道路の右側を歩く	19.9	19.3	18.8 >	16.5	15.3	15.5	14.6	14.9	14.8 >
オ. 人間らしい暮らしをする	69.6	69.6 <	77.2	76.3	75.2	75.5	75.5	77.1	77.9 <
カ. 労働組合をつくる	39.4 >	36.0 >	28.9	27.1	25.5 >	23.0 >	20.4	21.8	21.7 >
キ. わからない、無回答	7.8	7.0 >	4.3 <	6.0	5.7 >	4.3	5.0	5.4 >	3.9 >

—政治的有効性感覚 (選挙)—

第37問 国会議員選挙のときに、私たち一般国民が投票することは、国の政治にどの程度の影響を及ぼしていると思いますか。リストの中から選んでください。

	(略称)									
1. 非常に大きな影響を及ぼしている	強い	40.0 >	34.9 >	27.7 >	23.2	23.9 >	19.4	18.1 <	21.1	20.5 >
2. かなり影響を及ぼしている	やや強い	25.7	26.1	25.5	26.8	26.0 >	21.3	22.7 <	26.6	27.9 <
3. 少しは影響を及ぼしている	やや弱い	23.2 <	27.5 <	35.3	37.2	36.8 <	41.2	41.6 >	37.6	39.7 <
4. まったく影響を及ぼしていない	弱い	4.8 <	6.2	7.2	8.2	8.8 <	14.1	13.1 >	11.2 >	9.4 <
5. わからない、無回答	DK, NA	6.3	5.4 >	4.3	4.6	4.5	3.9	4.5 >	3.4 >	2.5 >

—政治的有効性感覚 (デモなど)—

第38問 では、私たち一般国民のデモや陳情、請願は、国の政治にどの程度の影響を及ぼしていると思いますか。リストの中から選んでください。

	(略称)									
1. 非常に大きな影響を及ぼしている	強い	14.4 >	12.8 >	7.8 >	6.6	6.7 >	4.9	5.3 <	6.6 >	5.1 >
2. かなり影響を及ぼしている	やや強い	32.5 >	30.0 >	24.3	23.9 >	21.7 >	17.3	17.6 <	20.7 >	18.4 >
3. 少しは影響を及ぼしている	やや弱い	40.0 <	44.0 <	53.6	53.5	54.2 <	57.0 <	59.5 >	54.6 <	58.6 <
4. まったく影響を及ぼしていない	弱い	5.9 <	7.0 <	8.9	9.7	10.8 <	15.4 >	12.5	13.0	13.5 <
5. わからない、無回答	DK, NA	7.2	6.2	5.5	6.4	6.6 >	5.4	5.1	5.1	4.4 >

—政治的有効性感覚 (世論)—

第39問 私たち一般国民の意見や希望は、国の政治にどの程度反映していると思いますか。リストの中からお答えください。

	(略称)									
1. 十分反映している	強い	3.6	3.6	3.1	2.9	2.9 >	1.8	1.6	1.9	1.9 >
2. かなり反映している	やや強い	17.5	17.7 >	15.8 >	13.7	13.1 >	8.8	8.4	8.8 <	10.5 >
3. 少しは反映している	やや弱い	52.4 <	56.3 <	58.7	59.8	59.4 >	52.7 <	57.1	57.5 <	62.4 <
4. まったく反映していない	弱い	19.2 >	15.7 <	17.5	18.4	18.9 <	32.9 >	28.7	28.1 >	22.0 <
5. わからない、無回答	DK, NA	7.3	6.7 >	4.8	5.3	5.7 >	3.9	4.2	3.7	3.4 >

一政治課題一

第40問 今、日本の政治が、取り組まなければならないいちばん重要なことがらは何でしょうか。リストの中から、1つだけ選んでください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 国内の治安や秩序を維持する	秩序の維持	12.6 <	17.3	18.5 >	13.1 >	11.6	11.0 <	17.1 <	21.4 >	17.0 <
2. 日本の経済を発展させる	経済の発展	10.7 <	21.1 >	18.8 >	11.5 <	21.4 <	48.0	48.1 >	24.7 <	37.3 <
3. 国民の福祉を向上させる	福祉の向上	48.5 >	31.9 >	27.3 <	37.2	36.7 >	18.4 >	13.7 <	28.1 >	20.4 >
4. 国民の権利を守る	権利の擁護	11.5 >	8.9 <	11.3 <	13.0 >	9.0 >	7.3	7.7 <	12.2	10.9
5. 学問や文化の向上をはかる	文化の向上	1.4 <	2.0 >	1.4	1.9 >	1.1	1.2 <	2.0	2.5	2.7 <
6. 国民が政治に参加する機会をふやす	参加の増大	6.0	6.9 <	9.8	9.0 <	10.9 >	9.2 >	5.9	5.9 >	4.6 >
7. 外国との友好を深める	友好の促進	2.7 <	5.3 <	8.3	9.2 >	4.7 >	1.5	1.4	1.3 <	3.6 <
8. その他		0.4	0.2 <	0.5	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.7
9. わからない、無回答	DK, NA	6.1	6.5 >	4.2	4.8	4.1 >	2.9	3.6	3.4	2.8 >

一結社・闘争性(政治)一

第41問 リストには、一般国民の政治活動のあり方がのせてあります。あなたはどれがいちばん望ましいと思いますか。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 選挙を通じてすぐれた政治家を選び、自分たちの代表として活躍してもらう	静観	62.6	61.0	60.5	60.4	61.1	59.6	59.7	59.1	59.7 >
2. 問題が起きたときは、支持する政治家に働きかけて、自分たちの意見を政治に反映させる	依頼	11.5 <	14.6	14.6 <	16.9	15.5 <	18.0	18.5	19.9	20.6 <
3. ふだんから、支持する政党や団体をもりたてて活動を続け、自分たちの意向の実現をはかる	活動	17.0	16.6	18.0 >	15.4	14.9	14.7 >	12.7	12.6	12.3 >
4. その他		0.1	0.1	0.1	0.1 <	0.4	0.3	0.5	0.3	0.5 <
5. わからない、無回答	DK, NA	8.8 >	7.6	6.7	7.2	8.2	7.3 <	8.6	8.1	6.9 >

一支持政党一

第42問 あなたは、ふだん、どの政党を支持していますか。(リストなし)

1. 自民党	34.3 <	38.2 <	40.6	38.7 >	28.4 >	24.0	25.0	26.0 <	33.6
2. 民主党	—	—	—	—	—	8.2 >	4.9 <	15.4 >	5.3 >
3. 日本維新の会	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0
4. 公明党	3.5 <	4.4	4.2	3.7 >	2.9	2.3 <	3.7	3.5	3.0
5. みんなの党	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2
6. 共産党	4.2 >	2.1	2.6	2.2	1.9 <	3.4 >	1.3 <	2.1	2.0 >
7. 生活の党	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1
8. 社民党(社会党)	19.8 >	14.1 >	12.5 >	10.9 >	8.3 >	3.5 >	1.8	1.4	1.0 >
9. その他の政治団体	3.1 <	4.6 <	5.6 >	2.8 <	13.5 >	2.8	2.8 >	0.5 >	0.2 >
10. 特に支持している政党はない	31.6 <	33.8	32.2 <	37.8 <	40.7 <	52.3 <	56.9 >	45.5	47.0 <
11. わからない、無回答	3.5	2.9	2.5 <	3.8	4.4 >	3.4	3.7 <	5.5	5.6 <

社民党については、'73年～'93年は社会党の結果
公明党については、'98年は公明の結果

(2013年調査時での議席数の多い順に表示)

－支持できそうな政党（支持政党なしの人）－

第43問 [第42問で「10」の人に]

いってえば、どの政党を支持できそうですか。(リストなし)

	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 自民党	7.2 <	9.1	9.4 <	12.0 >	5.7 <	7.0 <	11.4 >	9.3 <	11.8 <
2. 民主党	—	—	—	—	—	7.4 >	4.2 <	8.7 >	2.5 >
3. 日本維新の会	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3
4. 公明党	0.4	0.6	0.8 >	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.6
5. みんなの党	—	—	—	—	—	—	—	—	1.6
6. 共産党	2.3 >	0.9	0.9	1.0	0.7 <	2.4 >	1.3	0.9	1.1 >
7. 生活の党	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0
8. 社民党（社会党）	6.0 >	5.0 >	3.7 <	5.0 >	2.3	1.9 >	1.1	0.9 >	0.4 >
9. その他の政治団体	1.4 <	3.8	3.8 >	1.8 <	10.4 >	2.1	1.6 >	0.5	0.2 >
10. 支持できそうな政党もない	9.8	10.4	9.9 <	12.7 <	16.4 <	26.4 <	31.8 >	18.6 <	20.8 <
11. わからない、無回答	4.5	3.9	3.7 <	4.9	4.7	4.7	5.1 <	6.3	6.8 <
12. 非該当 [第42問で「1～9」「11」の人]	68.4 >	66.2	67.8 >	62.2 >	59.3 >	47.7 >	43.1 <	54.5	53.0 >

－政治活動－（MA）

第44問 あなたは、この1年ぐらいの間に、政治の問題について、リストにあるようなことをおこなったことがありますか。もしあれば、いくつでもあげてください。

	(略称)	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
ア. デモに参加した	デモ	4.0	3.5 >	2.4	1.8 >	0.7	0.9	0.7	0.6	0.6 >
イ. 署名運動に協力した	署名	24.4	25.1 <	29.6 <	32.0 >	21.2 <	24.5 >	21.6 >	18.5 >	16.4 >
ウ. マスコミに投書した	投書	0.8	0.7	0.7	0.6	0.4	0.6	0.5	0.4	0.5
エ. 陳情や抗議、請願した	陳情	4.5	4.4	4.4	3.8 >	2.4	2.1	2.2 >	1.4	1.3 >
オ. 献金・カンパした	献金	14.2	13.4	14.5 >	12.8 >	9.0	9.3 >	7.4	8.2	8.5 >
カ. 集会や会合に出席した	集会出席	12.6	12.2 <	17.2 >	13.7 >	12.1 >	9.5 <	11.4 >	8.3	7.3 >
キ. 政党・団体の新聞や雑誌を買って読んだ	機関紙購読	11.0 >	8.8	9.9 >	7.6 >	6.0	5.5	4.7	4.0	4.5 >
ク. 政党・団体の一員として活動した	党員活動	3.1	2.6 <	4.4 >	2.9	2.5	1.9	2.2	1.8	1.9 >
ケ. 特に何もなかった	なし	60.1	60.6 >	55.5	54.9 <	63.7	64.6	65.4 <	69.1 <	71.5 <
コ. その他		0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3 <
サ. 無回答	NA	2.1	2.3 >	1.2 <	2.3	2.9 >	1.9	2.2 <	3.0 >	1.6

－好きな外国－

第45問 あなたがいちばん好きな外国はどこですか。1つだけおっしゃってください。(リストなし)

	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. アメリカ	22.9	24.2	22.5 >	17.7 <	22.1
2. スイス	10.5	10.3	9.7	8.6	8.5 >
3. オーストラリア	15.2 >	10.6	9.8	8.6 >	6.5 >
4. フランス	5.0	4.6	4.6	5.0	5.7
5. イギリス	4.4	4.9	4.8	5.1	5.1
6. イタリア	1.2 <	3.6	4.5	5.1	5.0 <
7. カナダ	4.4	5.2 >	3.8	3.5	4.0
8. ドイツ	2.0	2.3	2.9	3.2	3.6 <
9. 韓国	#	#	1.0 <	1.9	2.4 <
10. ニュージーランド	1.9	2.1	2.6	3.0 >	2.0
11. スウェーデン	#	#	0.5 <	1.4	1.2
12. 中国	3.8	3.7 >	2.7 >	1.6 >	0.7 >
13. その他の国	5.3 <	6.4	5.8 <	7.4	7.7 <
14. ない	20.3	20.0 <	22.3	23.7	22.0
15. 無回答	3.1 >	2.0	2.6 <	4.3	3.5

#：調査時に上位でなかったため、データがない

(2013年の結果で多い順に表示)

—好きな外国の理由—

第46問 [第45問で「1～13」の人に]

その理由は、何でしょうか。リストの中から、いちばん近いものを選んでください。

	(略称)	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 行ってみたい、住んでみてよかったから	居住	4.6 <	6.5 <	8.0	7.7 <	9.6 <
2. その国の人と接してみて、印象がよかったから	国民経験	2.9 <	3.8	3.8	3.4	4.0 <
3. 自由で、平和な国だから	平和	7.6	6.7	6.7	6.2	5.6 >
4. 経済的に豊かで、進んだ国だから	先進国	2.8 <	3.8	3.6	3.7	4.3 <
5. 広くて、のびのびしているから	ゆとり	11.3 >	9.5 >	7.0 >	5.3	5.0 >
6. 国民の人柄がよさそうだから	国民印象	4.0	3.7	3.2	3.0	3.8
7. 美しい自然や恵まれた環境があるから	自然環境	23.0	22.6	21.7	20.2 >	16.9 >
8. 歴史があり、すぐれた文化や芸術があるから	芸術・文化	8.1	8.9	8.7 <	10.6	10.4 <
9. 日本との関係が深いから	日本との関係	7.1 >	5.5	5.4 >	3.9 <	6.2
10. 言葉がわかるから	言葉	0.4	0.3	0.3	0.3	0.6
11. その他		2.1 <	3.5	3.2	3.9	4.8 <
12. 特に理由はないがなんとなく	理由なし	2.6	2.5	2.9	2.7	2.4
13. わからない、無回答	DK, NA	0.2 <	0.6	0.6 <	1.1	1.0 <
14. 非該当 [第45問で「14, 15」の人]		23.3	22.0 <	24.9 <	28.0 >	25.5 <

—外国人との接触経験— (MA)

第47問 ところで、あなたは外国人とリストにあるようなつきあいを、日本国内でしたことがありますか。あればいくつでも選んでください。

	(略称)	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
ア. 近くに住んでいる外国人とあいさつをかわしたことがある	あいさつ	12.1 <	16.0	17.4	18.3	18.9 <
イ. 一緒に働いたことがある	職場	11.7 <	14.2 <	16.1 <	18.1	19.4 <
ウ. 学校で一緒に勉強したことがある	学校	10.0 <	12.4	13.4	14.4	13.9 <
エ. サークルや地域で一緒に活動したことがある	活動	5.3 <	6.8	7.8	7.6	7.8 <
オ. 食事に招待したり、されたりしたことがある	食事	9.3 <	13.0	13.7	14.8	13.6 <
カ. 自分の家に泊めたり、泊まりにいったことがある	宿泊	4.2 <	6.0	6.6	7.3	6.6 <
キ. 自分または家族や親せきが外国人と結婚している	結婚	3.5 <	4.7	5.1	5.8	6.9 <
ク. つきあったことはない	ない	61.3 >	54.1 >	51.0 >	47.6	48.6 >
ケ. その他		0.9	0.8	0.9	0.7	0.9
コ. 無回答	NA	1.6 >	1.0 <	1.6	1.9	1.4

—外国との交流—

第48問 外国や外国人について、あなたはどのようにお感じになりますか。リストのAからCまでの、1つ1つについて「そう思う」か「そうは思わない」かをお答えください。

A. いろいろな国の人と友達になりたい

	'03年	'08年	'13年
1. そう思う	65.4 >	62.6	62.9 >
2. そうは思わない	29.1	31.1	32.3 <
3. わからない、無回答	5.5	6.3 >	4.8

B. 貧しい国の人たちへの支援活動に協力したい

	'03年	'08年	'13年
1. そう思う	75.6	76.9	75.4
2. そうは思わない	16.8	16.0 <	19.0 <
3. わからない、無回答	7.6	7.1 >	5.6 >

C. 機会があれば、海外で仕事や勉強をしてみたい

	'03年	'08年	'13年
1. そう思う	43.0 >	39.6 >	37.1 >
2. そうは思わない	51.5 <	54.9 <	57.9 <
3. わからない、無回答	5.6	5.5	5.0

－結婚観（結婚すること）－

第49問 リストには、結婚についての考え方がのせてありますが、あなたのお考えは、甲と乙のどちらに近いでしょうか。

- 甲：人は結婚するのが当たり前だ
乙：必ずしも結婚する必要はない

	(略称)	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 甲に近い	するのが当然	44.6 >	38.0	35.9	35.0	33.2 >
2. 乙に近い	しなくてよい	50.5 <	57.9	59.4	59.6 <	62.6 <
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	4.9	4.1	4.8	5.4 >	4.2

－結婚観（子どもをもつこと）－

第50問 では、リストの甲と乙では、あなたのお考えはどちらに近いでしょうか。

- 甲：結婚しても、必ずしも子どもをもたなくてよい
乙：結婚したら、子どもをもつのが当たり前だ

	(略称)	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 甲に近い	もたなくてよい	40.2 <	47.3 <	49.8	48.4 <	55.2 <
2. 乙に近い	もつのが当然	53.5 >	47.8 >	43.9	44.8 >	38.9 >
3. どちらともいえない、わからない、無回答	DK, NA	6.2 >	5.0 <	6.3	6.8	5.9

－人間関係（友人）－

第51問 次に、友人とのつきあいについておたずねします。友人とはどんなつきあいをするのが望ましいと思いますか。リストの中から選んでください。

	(略称)	'08年	'13年
1. ときどき連絡を取り合う程度のつきあい	形式的つきあい	13.4 <	16.3 <
2. 気軽に話し合ったり遊んだりするようなつきあい	部分的つきあい	44.0	45.2
3. なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい	全面的つきあい	40.6 >	36.7 >
4. その他		0.1 <	0.4 <
5. わからない、無回答	DK, NA	1.9	1.4

－ライフステージ－

第52問 リストの中で、あなたにあてはまるのはどれでしょうか。

	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. 結婚したことはない	20.2	20.6	19.9	20.4	20.3	19.4	18.9	20.0	18.2 >
2. [夫または妻がいる] 子どもはいない	5.9 >	4.5	5.2 >	4.2	4.7 <	5.9	5.3	5.4	5.5
3. [夫または妻がいる] いちばん年下の子どもが中学生以下	41.3	40.2 >	32.9 >	28.6 >	25.5 >	20.8	20.2 >	17.6	16.5 >
4. [夫または妻がいる] いちばん年下の子どもが中学生より大きい	25.2	26.1 <	32.6 <	38.5	40.0 <	43.8	43.6	44.3	45.8 <
5. [夫または妻と離別・死別した] 子どもはいない	0.7	0.8	0.8	0.9	1.0	1.1 <	1.7	1.4	1.2 <
6. [夫または妻と離別・死別した] いちばん年下の子どもが中学生以下	0.9	1.0	1.0 >	0.6	0.8	0.9	1.0	0.9	0.8
7. [夫または妻と離別・死別した] いちばん年下の子どもが中学生より大きい	5.2	5.9	6.1	5.5	5.6 <	6.8	6.9 <	8.6 <	10.4 <
8. 無回答	0.6	0.9 <	1.6	1.4 <	2.0 >	1.3 <	2.4	1.9	1.5 <

—学歴—

第53問 あなたが最後に卒業された学校を、リストの中からあげてください。
(在学中の方は、現在通っている学校をお答えください。)

	'73年	'78年	'83年	'88年	'93年	'98年	'03年	'08年	'13年
1. [卒業] 中学校 (旧制小学校, 高等小学校)	45.1 >	37.6 >	32.8 >	27.8 >	22.6 >	20.6 >	18.1	17.6 >	13.9 >
2. [卒業] 高等学校 (旧制中学校, 女学校)	35.0 <	39.5	38.8 <	41.2	42.1	40.8	40.1	38.8	39.2 <
3. [卒業] 高等専門学校・短期大学 (旧制高等学校)	6.6	6.7 <	9.6 <	12.2 <	14.0 <	15.9	17.5	18.5 <	20.8 <
4. [卒業] 大学・大学院	5.6 <	7.1 <	9.4	10.2 <	11.8 <	14.7	16.1	17.7 <	19.7 <
5. [在学中] 高等学校, 高等専門学校(1~3年生)	5.1 <	6.4	6.2	5.5	5.5 >	4.3	4.5 >	3.5	3.4 >
6. [在学中] 高等専門学校(4, 5年生), 短期大学, 大学・大学院	1.9	2.0	2.4	1.9	2.1	2.3	1.7	1.8	1.6
7. その他, 無回答	0.6	0.6	0.8	1.2 <	1.8	1.4	1.9	2.1	1.5 <

—本人職業—

第54問

1. 農林漁業者	7.9 >	6.1	5.5	5.9 >	3.9	4.1 >	3.0 >	2.0	1.6 >
2. 自営業者	11.9 <	13.6	12.8	12.2	11.0 >	9.4	9.8	9.8 >	7.8 >
3. 販売職・サービス職	4.3	4.8 <	5.8	6.3 >	5.1 <	6.2	7.0 <	8.7	7.6 <
4. 技能職・熟練職	14.8 >	12.4 >	10.7	11.1	10.3	9.4	9.1 >	7.1	5.9 >
5. 一般作業職	3.6	4.0	4.2	3.9 <	5.2	4.3	3.7 <	5.2 <	8.3 <
6. 事務職・技術職	13.2	13.8	15.0	15.1 <	20.0 <	22.4 >	18.4	17.0	17.5 <
7. 経営者・管理者	3.8 <	4.7 >	3.8	3.9	4.2	3.4	4.2	4.4	4.4
8. 専門職, 自由業, その他の職業	0.8	1.0	1.3	1.3 >	0.8	1.1	1.1 <	2.2 >	1.1
9. 主婦	23.6	22.5 >	20.3	20.3	18.6	18.7	19.6	18.9	18.1 >
10. 生徒・学生	6.7 <	8.3	8.2	7.1	7.4	6.3	5.9	5.1	4.7 >
11. 無職	9.1 >	7.7 <	9.7	10.0	10.9 <	13.3 <	15.5 <	17.6 <	21.4 <
12. その他, 無回答	0.3 <	1.0 <	2.8	2.9	2.5 >	1.4 <	2.6	2.1	1.6 <

—主婦の生計維持者の職業—

第55問

1. 農林漁業者	2.6 >	1.6 >	1.0	0.7	1.0	0.6	0.5 >	0.2	0.2 >
2. 自営業者	4.0	3.4 >	1.9	2.3	1.9 >	1.3	1.4	1.5 >	0.6 >
3. 販売職・サービス職	0.9 <	1.6	1.4	1.6 >	0.9 >	0.5	0.8	1.0 >	0.3 >
4. 技能職・熟練職	5.3	4.7 >	4.2 >	3.2	2.5	1.9	1.9	1.6	1.5 >
5. 一般作業職	1.0	0.8	1.0	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7 <	1.2
6. 事務職・技術職	4.8	4.6	4.2	3.6 <	4.9 <	6.5 >	4.4 >	3.2	2.4 >
7. 経営者・管理者	2.4 <	3.1 >	2.0	2.0	1.7	1.2 <	1.9	1.6	1.8
8. 専門職, 自由業, その他の職業	0.4 <	0.8 >	0.4	0.6 >	0.2	0.4	0.6	0.5	0.3
(9. 主婦)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10. 生徒・学生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11. 無職	0.3 <	1.0 <	2.5 <	3.7	3.6 <	5.1 <	6.3 <	7.7	8.9 <
12. その他, 無回答	1.7 >	0.9 <	1.6	1.9 >	1.3 >	0.5 <	1.1	0.9	1.0 >
13. 非該当 [第54問で「9」以外の人]	76.4	77.5 <	79.7	79.7	81.4	81.3	80.4	81.1	81.9 <

有効サンプル構成

回数		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	
調査年		1973年	1978年	1983年	1988年	1993年	1998年	2003年	2008年	2013年	
人数(人)	全体	4,243	4,240	4,064	3,853	3,814	3,622	3,319	3,103	3,070	
	性	男性	1,953	1,910	1,836	1,755	1,727	1,659	1,519	1,393	1,346
		女性	2,290	2,330	2,228	2,098	2,087	1,963	1,800	1,710	1,724
	年齢	16-19歳	327	357	331	290	268	192	187	136	132
		20-24歳	414	323	266	282	307	243	147	133	102
		25-29歳	503	474	303	271	248	248	183	146	132
		30-34歳	503	543	472	330	295	254	242	216	137
		35-39歳	497	524	510	467	324	289	290	242	214
		40-44歳	494	426	431	386	408	289	260	228	239
		45-49歳	382	406	386	377	385	351	240	236	238
		50-54歳	271	348	336	321	343	343	336	241	241
		55-59歳	245	273	328	327	319	356	330	334	262
		60-64歳	216	204	235	290	340	326	312	297	323
	65-69歳	173	139	195	225	229	268	282	294	278	
70-74歳	126	115	142	151	163	228	242	251	312		
75歳以上	92	108	129	136	185	235	268	349	460		
都市規模	特別区と100万以上の市	784	772	739	697	712	677	566	564	606	
	30万以上の市	578	693	676	607	667	645	648	688	637	
	10万以上の市	823	827	839	789	766	749	673	748	751	
	5万以上の市町村	465	517	440	515	467	464	337	528	487	
	5万未満の市町村	1,593	1,431	1,370	1,245	1,202	1,087	1,095	575	589	
学歴	中学卒業	1,914	1,596	1,333	1,073	863	747	600	545	427	
	高校卒業	1,486	1,675	1,577	1,586	1,606	1,478	1,332	1,205	1,202	
	高専・短大卒業	282	286	390	471	535	577	581	573	638	
	大学・大学院卒業	238	300	381	393	450	533	536	549	605	
	高校在学	217	272	253	211	210	154	150	110	103	
	短大・大学・大学院在学	81	85	98	72	82	84	56	56	50	
その他、無回答	25	26	32	47	68	49	64	65	45		

回数		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	
調査年		1973年	1978年	1983年	1988年	1993年	1998年	2003年	2008年	2013年	
構成比(%)	全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	性	男性	46.0	45.0	45.2	45.5	45.3	45.8	45.8	44.9	43.8
		女性	54.0	55.0	54.8	54.5	54.7	54.2	54.2	55.1	56.2
	年齢	16-19歳	7.7	8.4	8.1	7.5	7.0	5.3	5.6	4.4	4.3
		20-24歳	9.8	7.6	6.5	7.3	8.0	6.7	4.4	4.3	3.3
		25-29歳	11.9	11.2	7.5	7.0	6.5	6.8	5.5	4.7	4.3
		30-34歳	11.9	12.8	11.6	8.6	7.7	7.0	7.3	7.0	4.5
		35-39歳	11.7	12.4	12.5	12.1	8.5	8.0	8.7	7.8	7.0
		40-44歳	11.6	10.0	10.6	10.0	10.7	8.0	7.8	7.3	7.8
		45-49歳	9.0	9.6	9.5	9.8	10.1	9.7	7.2	7.6	7.8
		50-54歳	6.4	8.2	8.3	8.3	9.0	9.5	10.1	7.8	7.9
		55-59歳	5.8	6.4	8.1	8.5	8.4	9.8	9.9	10.8	8.5
		60-64歳	5.1	4.8	5.8	7.5	8.9	9.0	9.4	9.6	10.5
	65-69歳	4.1	3.3	4.8	5.8	6.0	7.4	8.5	9.5	9.1	
70-74歳	3.0	2.7	3.5	3.9	4.3	6.3	7.3	8.1	10.2		
75歳以上	2.2	2.5	3.2	3.5	4.9	6.5	8.1	11.2	15.0		
都市規模	特別区と100万以上の市	18.5	18.2	18.2	18.1	18.7	18.7	17.1	18.2	19.7	
	30万以上の市	13.6	16.3	16.6	15.8	17.5	17.8	19.5	22.2	20.7	
	10万以上の市	19.4	19.5	20.6	20.5	20.1	20.7	20.3	24.1	24.5	
	5万以上の市町村	11.0	12.2	10.8	13.4	12.2	12.8	10.2	17.0	15.9	
	5万未満の市町村	37.5	33.8	33.7	32.3	31.5	30.0	33.0	18.5	19.2	
学歴	中学卒業	45.1	37.6	32.8	27.8	22.6	20.6	18.1	17.6	13.9	
	高校卒業	35.0	39.5	38.8	41.2	42.1	40.8	40.1	38.8	39.2	
	高専・短大卒業	6.6	6.7	9.6	12.2	14.0	15.9	17.5	18.5	20.8	
	大学・大学院卒業	5.6	7.1	9.4	10.2	11.8	14.7	16.1	17.7	19.7	
	高校在学	5.1	6.4	6.2	5.5	5.5	4.3	4.5	3.5	3.4	
	短大・大学・大学院在学	1.9	2.0	2.4	1.9	2.1	2.3	1.7	1.8	1.6	
その他、無回答	0.6	0.6	0.8	1.2	1.8	1.4	1.9	2.1	1.5		